

Technics Music App ユーザーガイド

概要

Technics Music App は、音源選択、再生機器選択、プレイリスト作成を、タブレットやスマートフォンで簡単かつ快適に行うことができる再生アプリです。Technics のネットワークオーディオプレーヤーにてお使いいただければ、DLNA 対応機器だけでなく、アプリ操作を行う端末内に格納されたコンテンツや、機器に接続された USB メモリーの音源もアプリケーション上にソースとして表示され、再生コントロールを統合的に行うことができる環境を提供します。

Technics Music App と、SU-R1/ST-C700 との組み合わせでは、機器に接続された USB メモリーの音源もアプリケーション上にソースとして表示され、再生コントロールを統合的に行うことができる環境を提供します。さらに、Technics のアンプとも組み合わせることで、アプリを通じた音楽再生時に音量調節や、Bass・Mid・Treble の音質バランス調整も行えます。

Technics Music App と、OTTAVA™ SC-C500/SU-G30/OTTAVA™ f SC-C70 との組み合わせでは、機器に接続された USB メモリー/CD の音源もアプリケーション上にソースとして表示され、再生コントロールを統合的に行うことができる環境を提供します。さらにアプリを通じた音楽再生時に音量調節や、Bass・Mid・Treble の音質バランス調整も行えます。

さらに、アプリからの電源操作や設定操作、Spotify の操作も行えます。

さらに、Technics Music App と、OTTAVA™ f SC-C70 との組み合わせでは、iOS 機器を使った周波数特性調整機能により、機器を設置した位置と iOS 機器で測定する位置に合わせて最適な音質に近付ける事ができます。

また、Technics ミュージックサーバー ST-G30 に対応しており、ST-G30 での CD リッピングや音楽データのタグ編集、USB インポート/バックアップ、USB オーディオ再生、各種設定など、多彩な操作を手軽に行えます。

主な機能

- シンプルで直感的なメニュー
- DLNA サーバー内の曲再生操作（ギャップレス再生対応*1）

*1 対応ファイルの種類は、WAV/FLAC/AIFF/ALAC/DSD です。

ただし、対応している形式のファイルでもギャップレス再生できない事があります。

- USB メモリー再生機能(対応機器は SU-R1/ST-C700/ SU-G30/OTTAVA™ SC-C500/ OTTAVA™ f SC-C70 になります。)*2
- CD 再生機能(対応機器は OTTAVA™ SC-C500/ OTTAVA™ f SC-C70 になります。)*3
 - *2,*3 OTTAVA™ SC-C500:ver1.19 以上 / SU-G30:ver1.12 以上
にファームアップデートしてください。
詳細は次のサポートページをご参照ください。
<http://jp.technics.com/support/firmware/>
- マルチデバイスプレイリスト機能（このアプリでは、“ローカルプレイリスト”と呼んでいます）*4
- Bass/Mid/Treble の音質バランス調整 *5
 - *4 USB メモリー/CD 内の音源は、マルチデバイスプレイリストに追加できません
 - *5 Bluetooth®をご使用の際は、動作しません
- Technics 機器の電源操作(対応機器は SU-G30/OTTAVA™ SC-C500/ OTTAVA™ f SC-C70 になります。)
- Technics 機器の機器設定操作(対応機器は SU-G30/OTTAVA™ SC-C500/ OTTAVA™ f SC-C70 になります。)
- 曲の検索
- 縦横表示切替
- 背景色切替
- Spotify 対応*6（対応機器は SU-G30/OTTAVA™ SC-C500/ OTTAVA™ f SC-C70 になります。）
 - *6 OTTAVA™ SC-C500:ver1.23 以上 / SU-G30:ver1.14 以上
にファームアップデートしてください。
詳細は次のサポートページをご参照ください。
<http://jp.technics.com/support/firmware/>
- MQA 対応*7（対応機器は SU-G30 になります。）
 - *7 SU-G30:ver1.17 以上にファームアップデートしてください。
詳細は次のサポートページをご参照ください。
<http://jp.technics.com/support/firmware/>
- Space Tune 対応(対応機器は OTTAVA™ f SC-C70 になります。)
- Technics ミュージックサーバー ST-G30 の CD リッピング、タグ編集、USB インポート/バックアップ、USB オーディオ再生、各種設定操作
※上記操作については、“Technics Music App ユーザーガイド(ST-G30 コントロール編)”をご覧ください。

対応機器

- SU-R1 / ネットワークオーディオコントロールプレーヤー
- ST-C700 / ネットワークオーディオプレーヤー
- OTTAVA™ SC-C500/CD ステレオシステム
- SU-G30 / ネットワークオーディオアンプ
- ST-G30 / ミュージックサーバー
- OTTAVA™ f SC-C70 / コンパクトステレオシステム

音量調節と、Bass/Mid/Treble の音質バランス調整は以下組み合わせでのみ有効です。

- SU-R1 と SE-R1
- ST-C700 と SU-G700/SU-C700
- OTTAVA™ SC-C500
- SU-G30
- OTTAVA™ f SC-C70

対応 OS

iOS : iOS12 以上

始める前に

DLNA 機能を使うには、Technics 機器(SU-R1/ST-C700/ SU-G30/OTTAVA™ SC-C500/OTTAVA™ f SC-C70) と無線ブロードバンドルーターとの接続が必要になります。

無線ブロードバンドルーターは、アプリをインストールした端末と接続が可能な物を必ずお使いください。

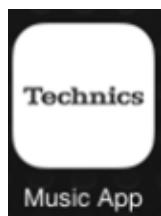
ご不明点は無線ブロードバンドルーターの販売元にご確認ください。

最初に、無線ブロードバンドルーターと Technics 機器が接続されている事。

また無線ブロードバンドルーターとアプリをインストールした端末が接続されている事を必ずご確認ください。Spotify を使用する場合は、無線ブロードバンドルーターをインターネットに繋がったネットワークに接続してください。

アプリ起動

App Store から Technics Music App をインストールして頂き、端末の画面上の Technics Music App のアイコンをタップして、アプリを起動してください。



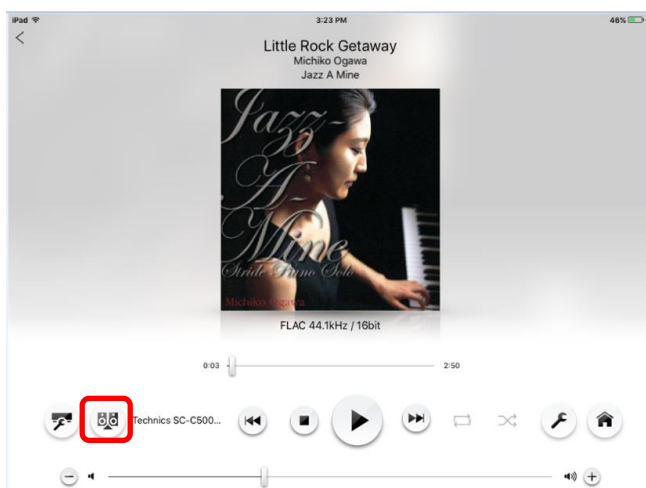
スピーカー機器の切り替え

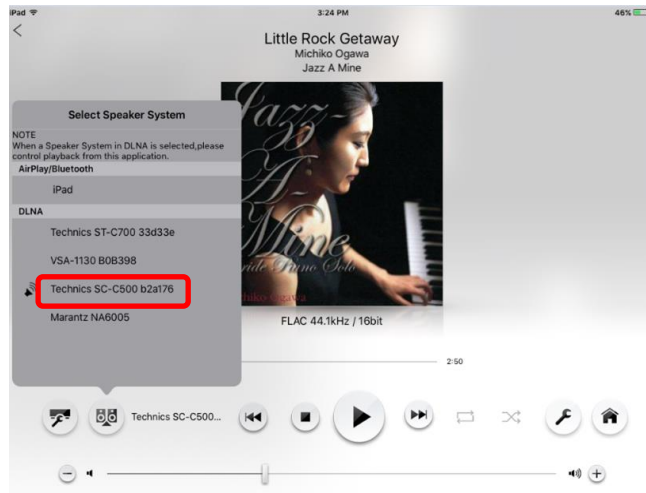
スピーカー機器を切り替える事ができます。

スピーカーボタンをタップすると、スピーカー機器 選択画面が表示されますので、その後、スピーカー機器を切り替える事ができます。

Note:

- ・Technics 機器を DLNA のスピーカー機器として選択すると、Technics 機器からは再生操作できません。
(SU-G30/OTTAVA™ SC-C500 のリモコンで操作すると、“Remote Mode”と表示されます。)
Technics 機器側から操作したい場合は、Technics 機器のリモコンで、“LAN”モード(SU-R1/ST-C700), “DMP”モード(SU-G30/OTTAVA™ SC-C500/ OTTAVA™ f SC-C70)に切り替えてください。
- ・AirPlay を操作したい場合は、iOS 端末自身から操作を行ってください。
- ・OTTAVA™ f SC-C70 を選択すると、端末の時計情報を機器に自動的に設定します。





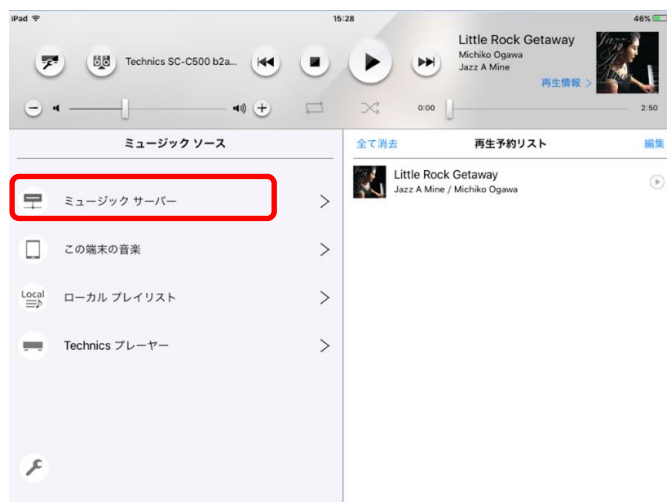
曲選択

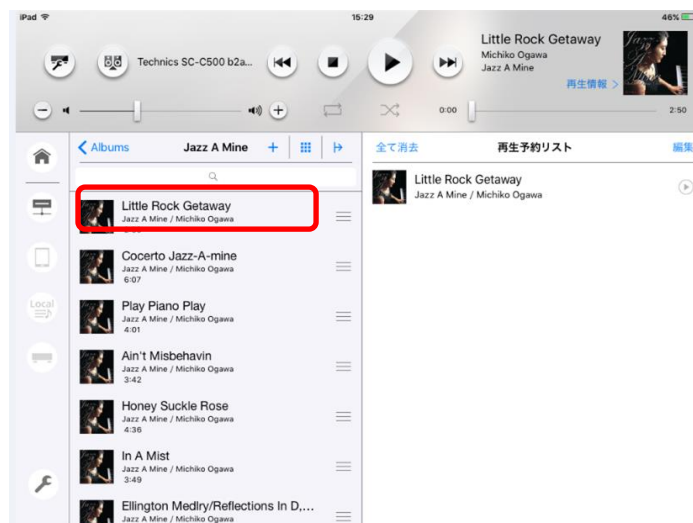
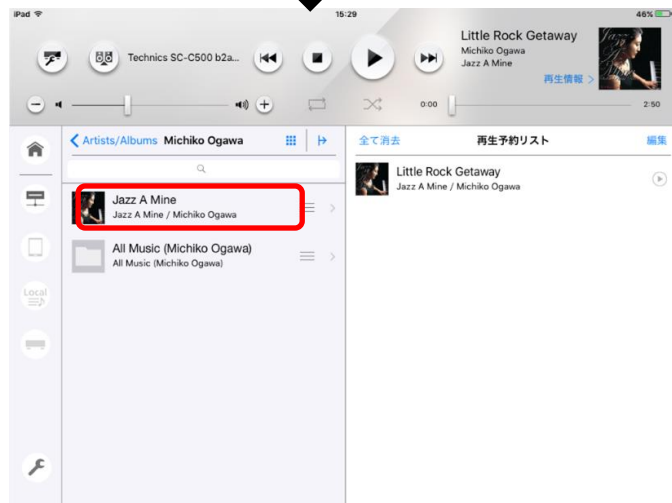
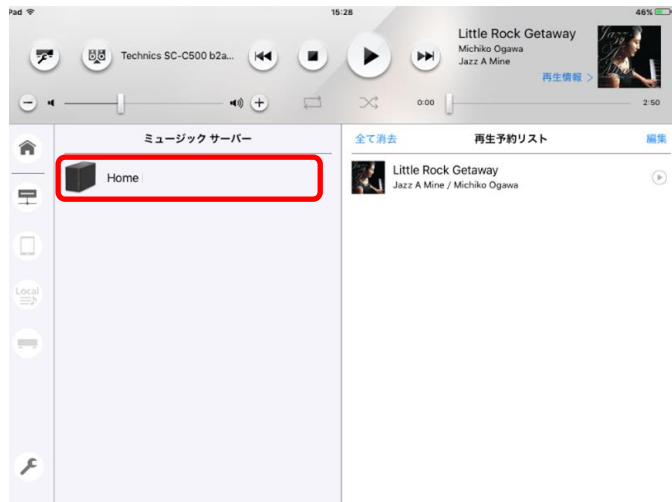
DLNA サーバーの曲選択

同じネットワーク内に DLNA サーバーやネットワークハードディスク (NAS: Network Attached Storage) がある場合は、”ミュージック ソース”内の”ミュージック サーバー”をタップして、機器名を選んでください。機器名をタップするとアーティスト、アルバム等のフォルダが表示され、その中の曲を選択する事ができます。

Note:

DSD の曲を再生する場合は、DSD 対応の DLNA サーバー、もしくは NAS をお使いください。



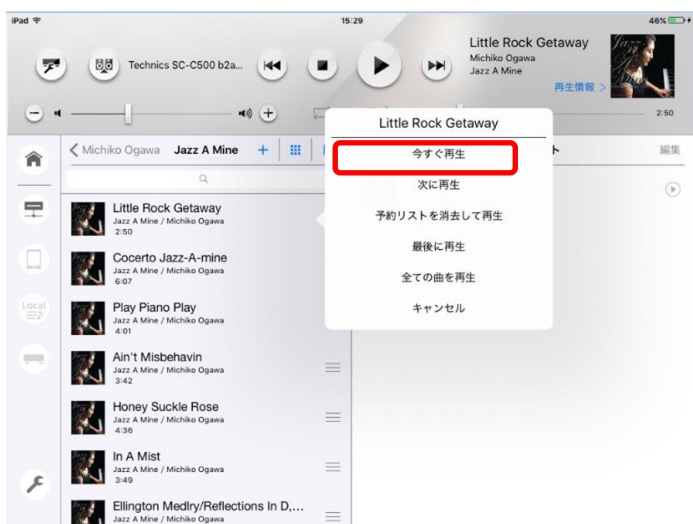
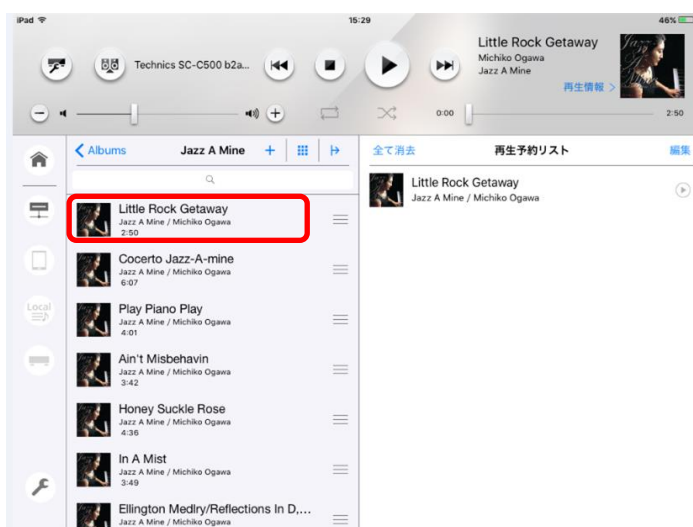


曲を選択後、ポップアップ画面が表示され、再生方法を選択する事ができます。

- “今すぐ再生”: 選択した曲を再生します。
- “次に再生”: 現在再生中の曲の再生終了後、次の曲として再生します。
- “予約リストを消去して再生”: 再生予約リストを消去して、選択した曲を再生します。
- “最後に再生”: 再生予約リストに、最後の曲として登録します。
- “全ての曲を再生”: 選択した曲と、同一フォルダにある以降の全ての曲を再生します。

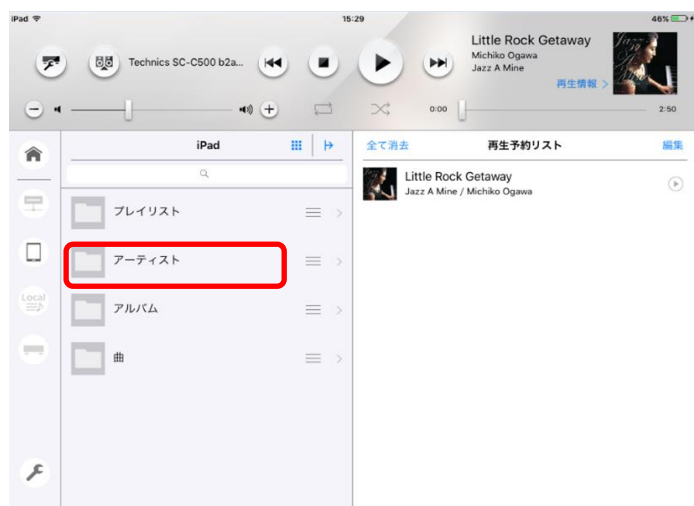
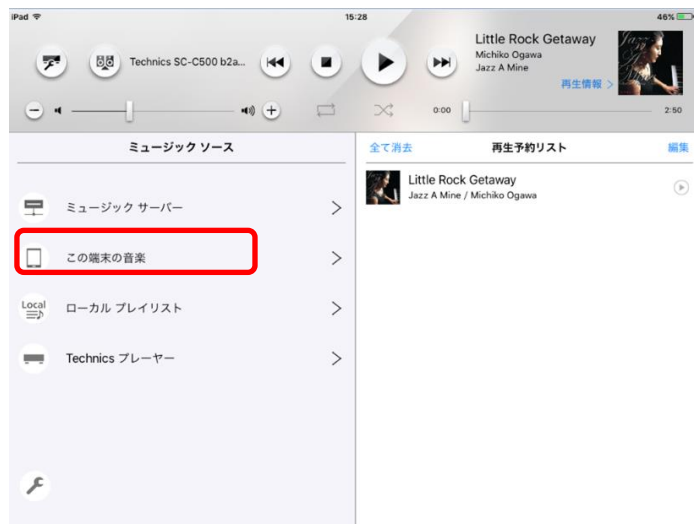
選択した曲は再生予約リストに登録されます。

再生予約リスト内の曲をタップしても、再生します。



端末内の曲選択

端末内の曲を再生したい場合は、”ミュージック ソース”内の”この端末の音楽”をタップしてください。アーティスト、アルバム等のフォルダが表示され、その中の曲を選択する事ができます。再生方法は、”DLNA サーバーの曲選択”と同様になります。



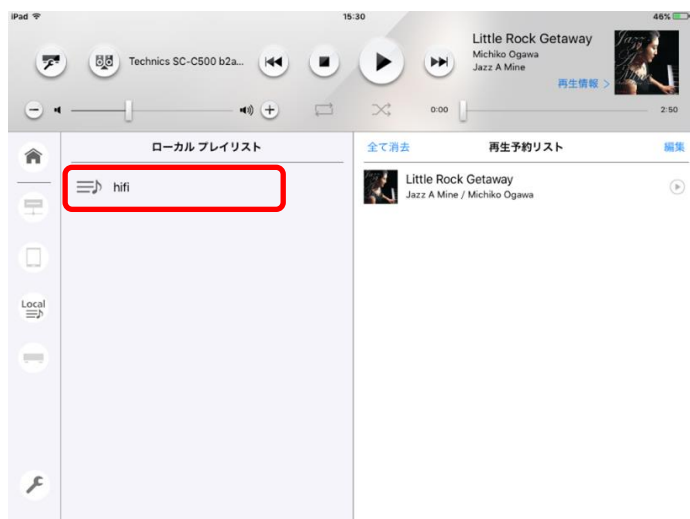
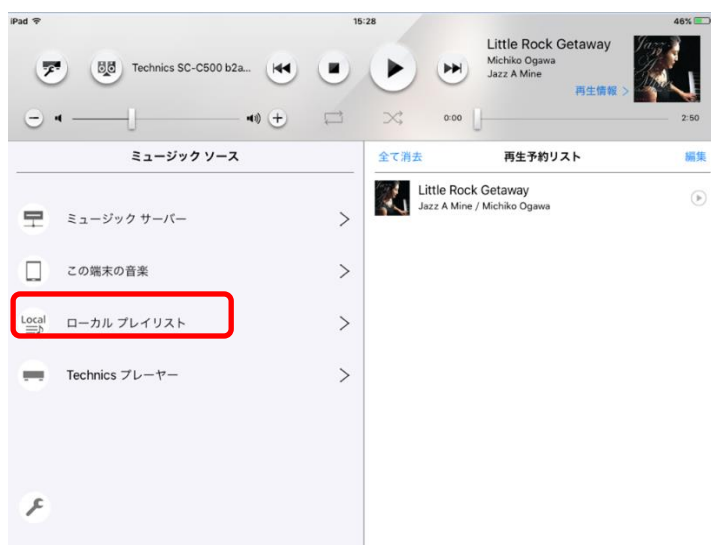
ローカルプレイリスト内の曲選択

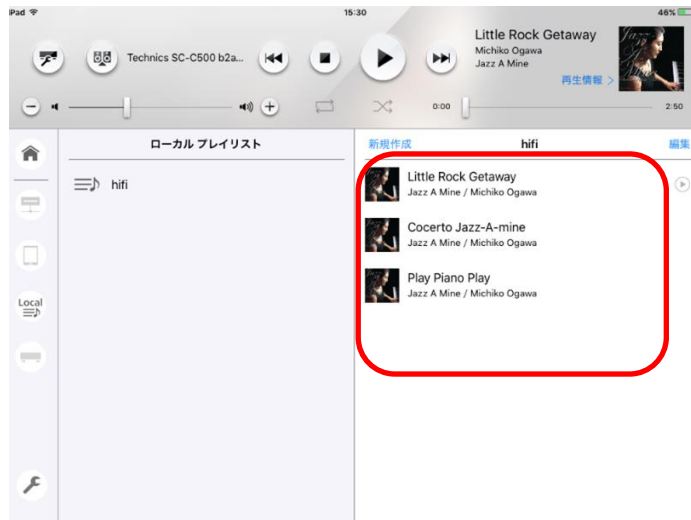
再生予約リストをローカルプレイリストとして保存する事ができます。

まず、ローカルプレイリストを作成する必要があります。("ローカルプレイリスト作成"を参照してください。)

ローカルプレイリスト内の曲を再生したい場合は、"ミュージック ソース"内の"ローカルプレイリスト"をタップしてください。

プレイリスト一覧が表示されるので、プレイリストを選択すると、プレイリスト内の曲が再生予約リストに展開されます。再生予約リスト内の曲をタップすると、再生します。





USB メモリーの曲選択

Technics 機器に接続された USB メモリー内の曲を再生する事ができます。
 USB メモリー内の曲を再生したい場合は、スピーカー機器選択で、”DLNA”の Technics 機器を選択してください。その後、”ミュージック ソース”内の”Technics プレーヤー”をタップしてください。
 タップすると、”USB”が表示されますので、”USB”表示箇所をタップしてください。
 その後、USB メモリー内のフォルダや曲が表示され、選択する事ができます。
 再生方法は、”DLNA サーバーの曲選択”と同様になります。

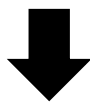
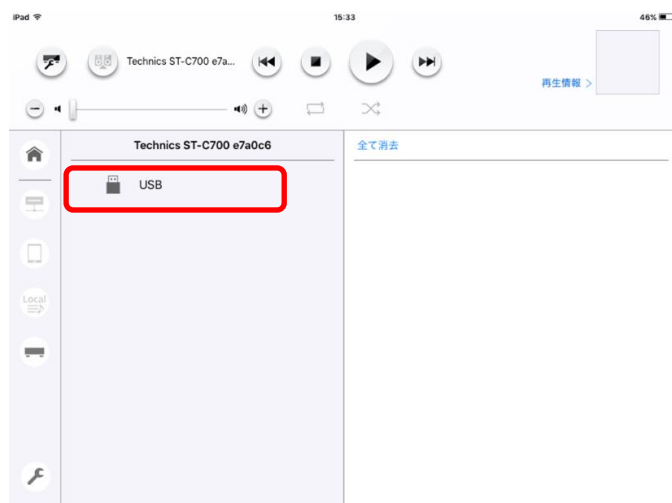
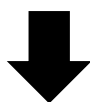
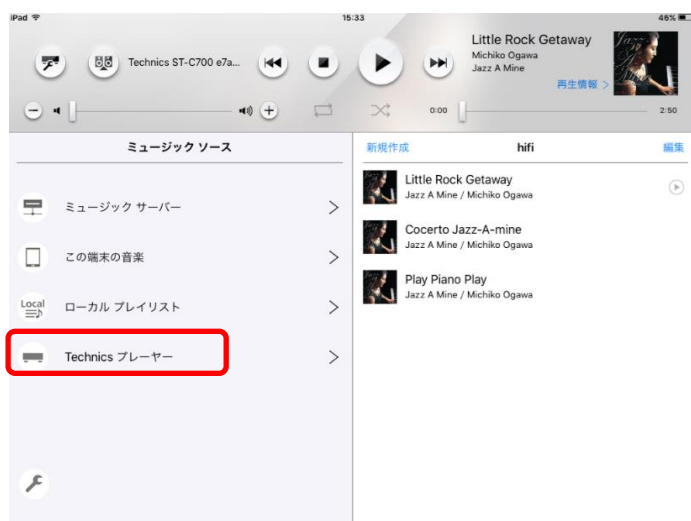
Note:

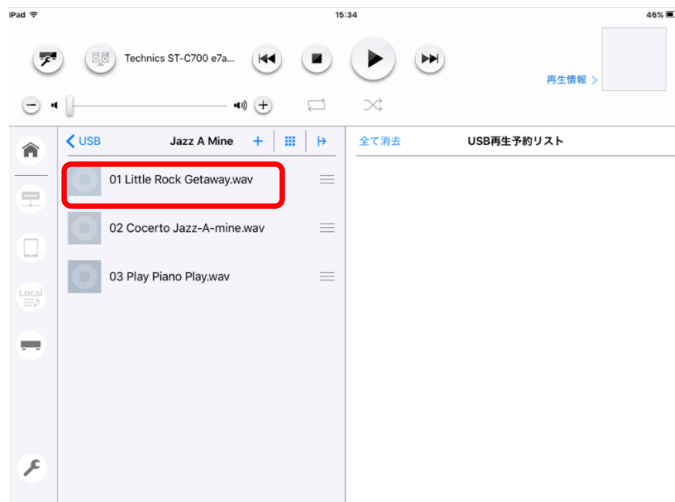
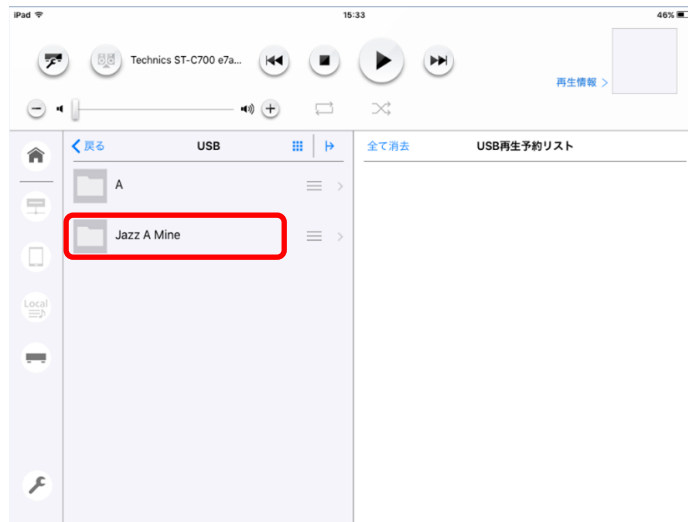
- USB 選択後、Technics 機器側の表示が”Remote Mode”になります。
 この表示中は、Technics 機器側からは再生制御できません。
 ”Remote Mode”から抜きたい場合は、Technics 機器のリモコンで、他の入力モードに切り替えてください。
- 同一フォルダ内の曲のみ、USB 再生予約リストに登録できます。
- Technics 機器から USB メモリーを抜いた場合は、USB 再生予約リストは消去されます。
- このアプリで”ミュージック ソース”の別のソースを選択すると、USB 再生予約リストは消去されます。
- シーク機能(再生画面で、再生時間表示バーを動かして、特定の再生位置まで移動する機能)は、再生画面でのみ有効です。
- アルバムアートは、USB メモリーの曲選択時は表示されません。
- SU-G30/OTTAVA™ SC-C500 でこの機能を使うには、Technics Music App: ver1.5.0 以上をお使いください。
 また、OTTAVA™ SC-C500:ver1.19 以上 / SU-G30:ver1.12 以上にファームアップデートしてください。
 詳細は次のサポートページをご参照ください。

<http://jp.technics.com/support/firmware/>

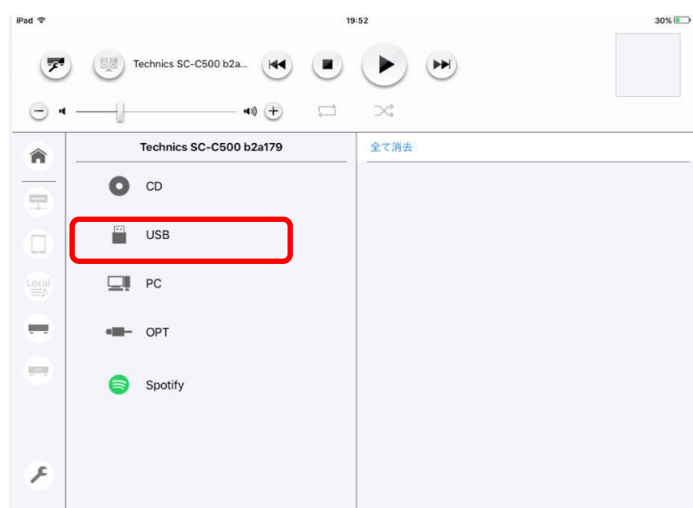
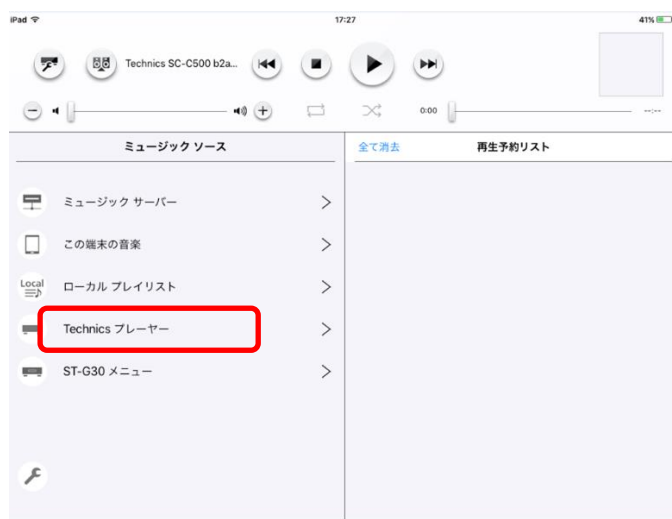
- OTTAVA™ f SC-C70 でこの機能を使うには、Technics Music App: ver1.9.0 以上をお使いください。

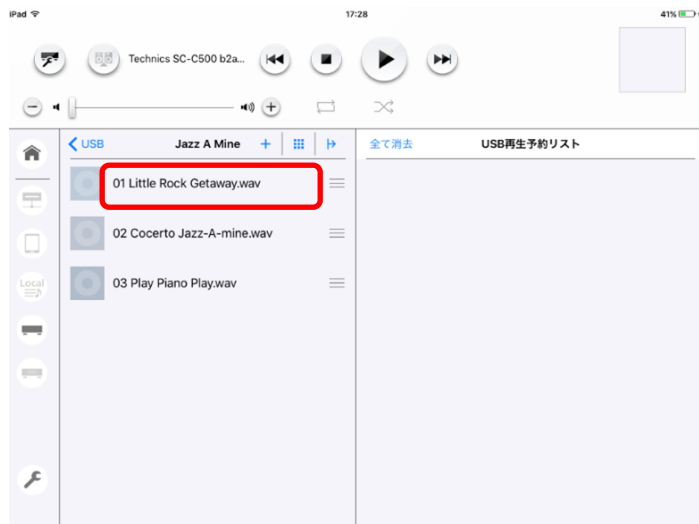
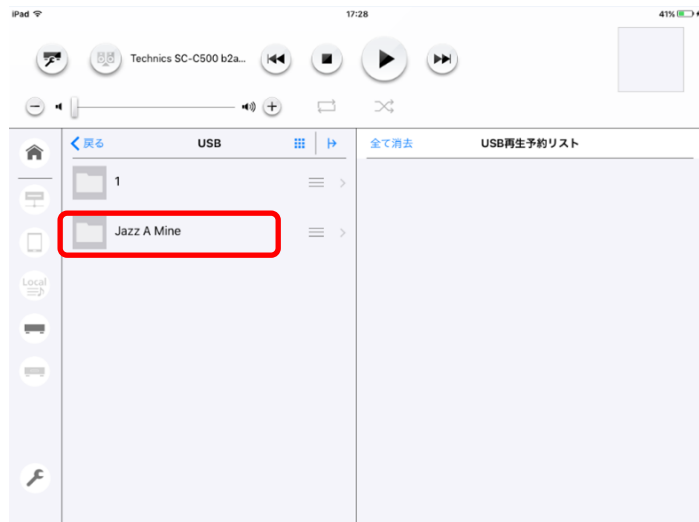
- SU-R1/ST-C700 の場合 （以下の例は ST-C700）





- SU-G30/OTTAVA™ SC-C500/ OTTAVA™ f SC-C70 の場合（以下の例は OTTAVA™ SC-C500）





CD の曲選択

Technics 機器に装着された CD の曲を再生することができます。

CD の曲を再生したい場合は、スピーカー機器選択で、“DLNA”の Technics 機器を選択してください。

その後、“ミュージック ソース”内の“Technics プレーヤー”をタップしてください。

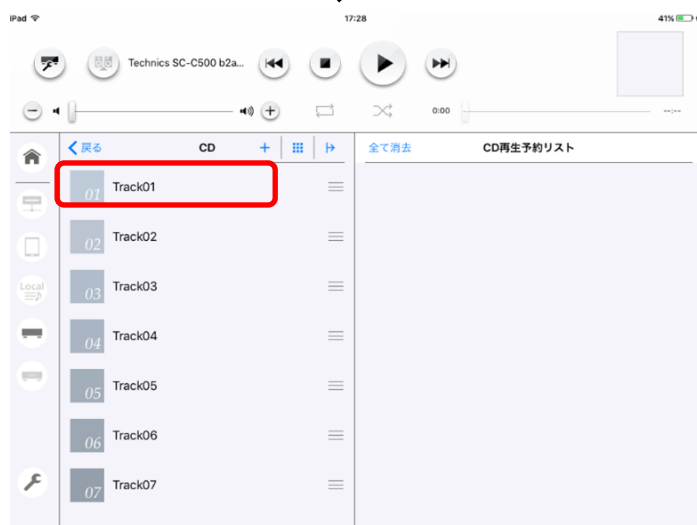
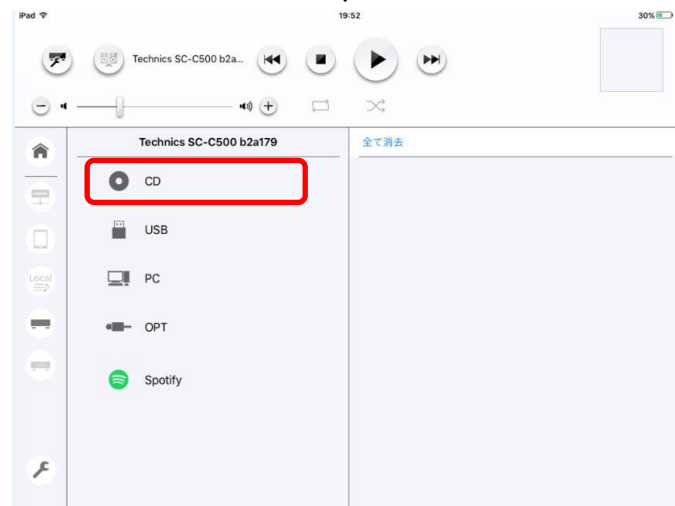
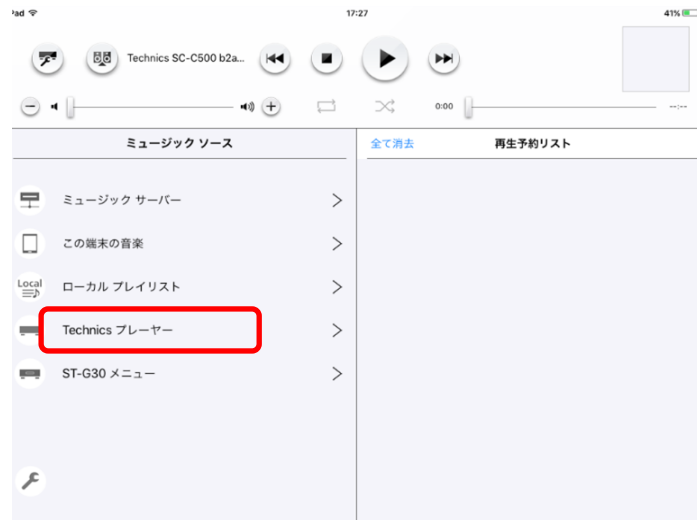
タップすると、“CD”が表示されますので、“CD”表示箇所をタップしてください。

その後、CD の曲が表示され、選択することができます。

再生方法は、“DLNA サーバーの曲選択”と同様になります。

Note:

- CD 選択後、Technics 機器側の表示が“Remote Mode”になります。
この表示中は、Technics 機器側からは再生制御できません。
“Remote Mode”から抜きたい場合は、Technics 機器のリモコンで、他の入力モードに切り替えてください。
- Technics 機器から CD を取り出した場合は、CD 再生予約リストは消去されます。
- このアプリで“ミュージック ソース”の別のソースを選択すると、
CD 再生予約リストは消去されます。
- シーク機能(再生画面で、再生時間表示バーを動かして、特定の再生位置まで移動する機能)は、
CD では無効です。無効時は、再生時間表示バーは透過表示になります。
- アルバムアートは、CD の曲選択時は表示されません。
- 曲名は、Track **(**は番号)の表示になります。
- CD 再生停止状態で、このアプリをバックグラウンドに遷移、もしくは端末がスリープの状態から、再度アプリを再生させると再生が停止、もしくは次曲にスキップする場合があります。その際は、再度アプリで選曲し、再生を行ってください。
- OTTAVA™ SC-C500 でこの機能を使うには、Technics Music App: ver1.5.0 以上をお使いください。
また、OTTAVA™ SC-C500:ver1.19 以上にファームアップデートしてください。
詳細は次のサポートページをご参照ください。
<http://jp.technics.com/support/firmware/>
- OTTAVA™ f SC-C70 でこの機能を使うには、Technics Music App: ver1.9.0 以上をお使いください。



Technics 機器のセレクト切り替え

Technics 機器側のセレクトを切り替える事ができます。

スピーカー機器選択で、”DLNA”の Technics 機器を選択してください。

そして、”ミュージック ソース”内の”Technics プレーヤー”をタップしてください。

タップすると、セレクト一覧が表示されます。

セレクトをタップすると、Technics 機器のセレクトが切り替わります。

Note:

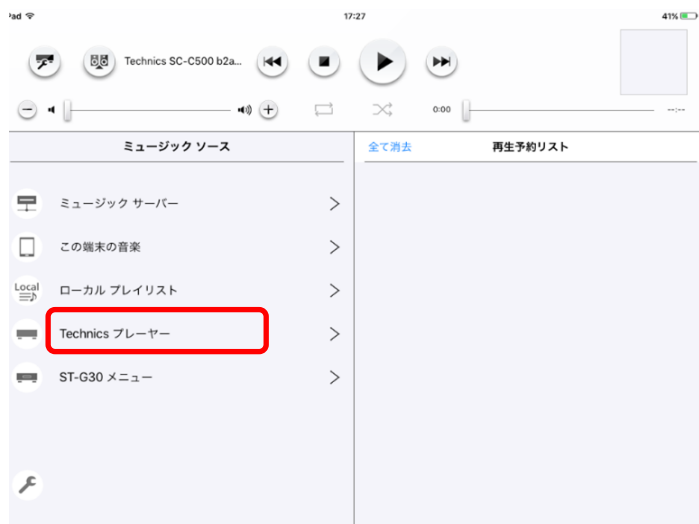
- SU-G30/OTTAVA™ SC-C500 でこの機能を使うには、Technics Music App: ver1.5.0 以上をお使いください。

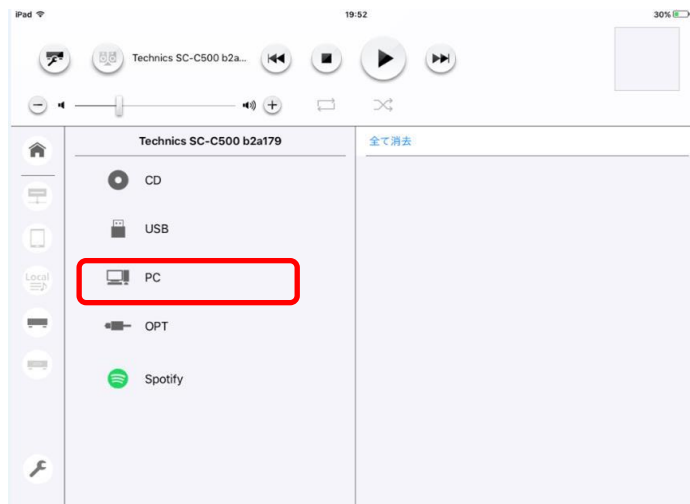
また、OTTAVA™ SC-C500:ver1.19 以上 / SU-G30:ver1.12 以上にファームアップデートしてください。

詳細は次のサポートページをご参照ください。

<http://jp.technics.com/support/firmware/>

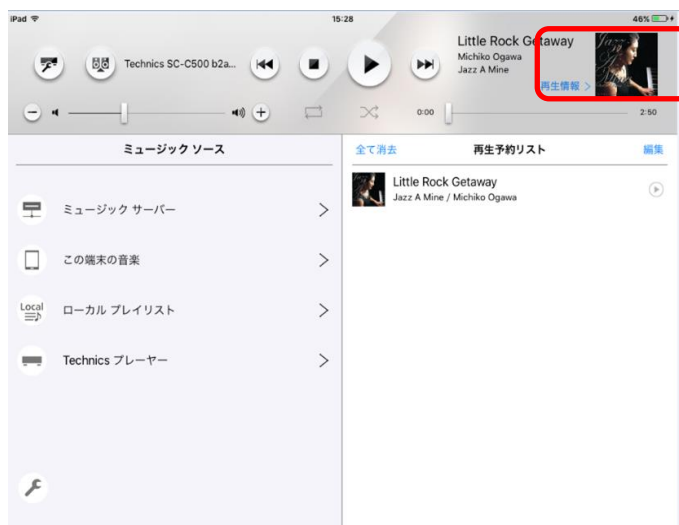
- OTTAVA™ f SC-C70 でこの機能を使うには、Technics Music App: ver1.9.0 以上をお使いください。
 - ST-G30 との組み合わせで、USB-DAC として USB オーディオ再生を行う場合は、アプリ側であらかじめ”PC”を選択してください。
- その後、”Technics Music App ユーザーガイド(ST-G30 コントロール編)”に従って、操作してください。

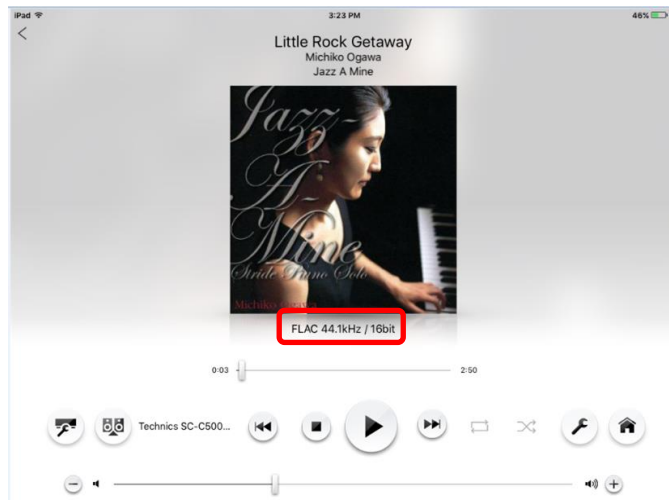




再生画面への切り替え

- ・タブレットでは、ジャケットもしくは“再生情報”をタップする事で、再生画面へ切り替える事ができます。
- ・スマートフォンでは、“再生中”をタップする事で、再生画面へ切り替える事ができます。





Note:

再生画面で、再生中の曲をコーデック情報が表示されます。

ただし、NAS や再生中の曲によっては、コーデック情報が表示されない もしくは、正しく表示されない場合があります。

ローカルプレイリスト作成

再生予約リストをローカルプレイリストとして保存する事ができます。

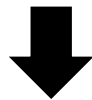
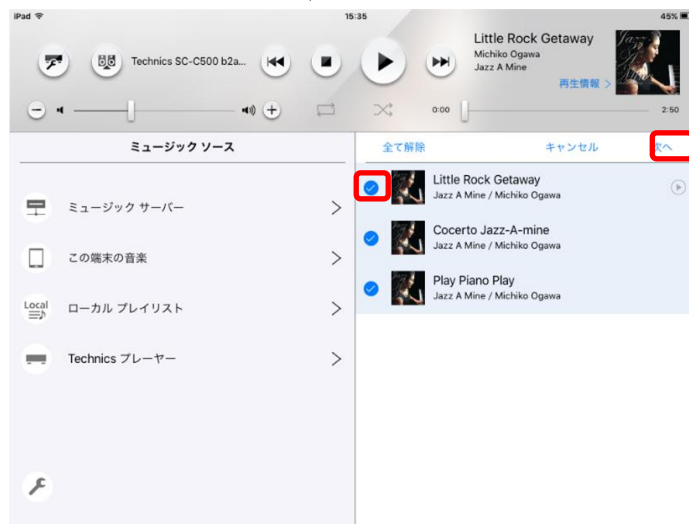
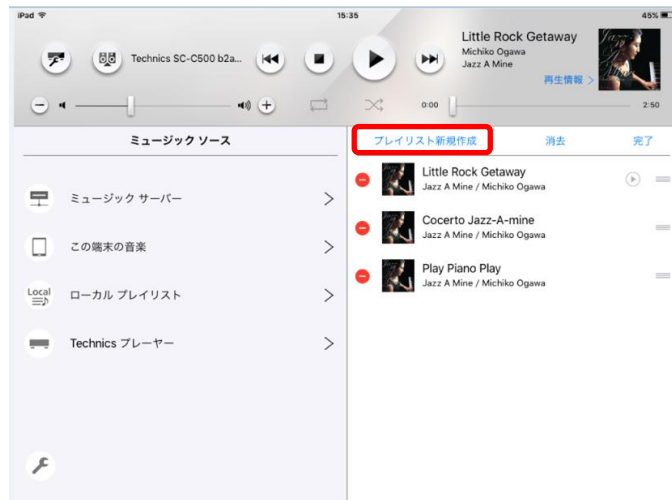
まず、“編集”をタップしてください。そして、“プレイリスト新規作成”をタップし、プレイリストに追加したい曲を選択してください。

その後、“次へ”をタップし、最後にプレイリスト名を入力してください。

Note:

USB 選択時は、ローカルプレイリストを作成できません。





再生予約リストからの曲消去

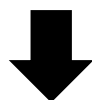
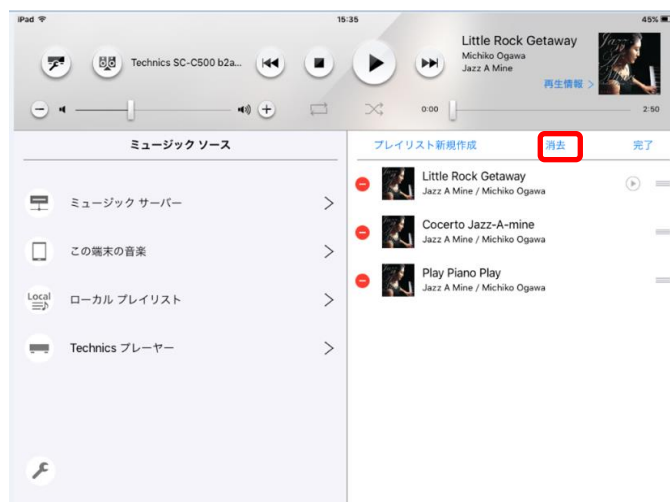
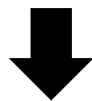
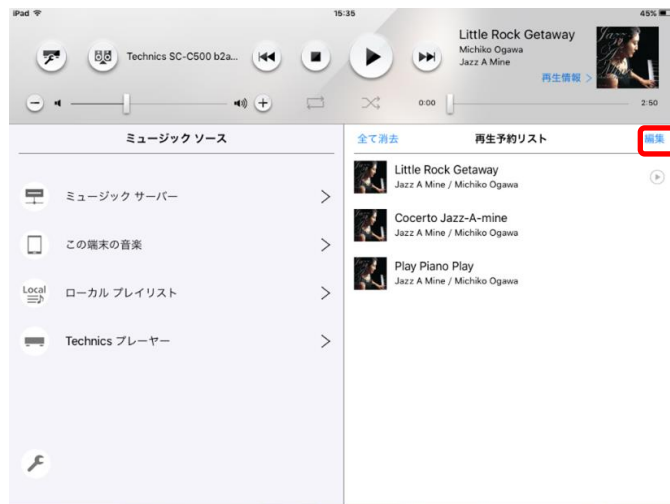
再生予約リストから曲を消去する事ができます。

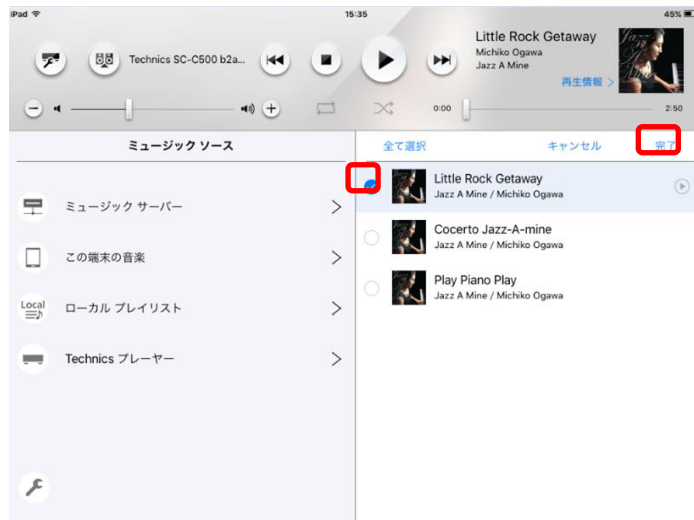
まず、”編集”をタップしてください。そして、”消去”をタップし、消去したい曲を選択してください。

(複数曲を選択できます。)

最後に”完了”をタップしてください。

(ローカルプレイリスト内の曲を消去した場合は、”保存”をタップしてください。)





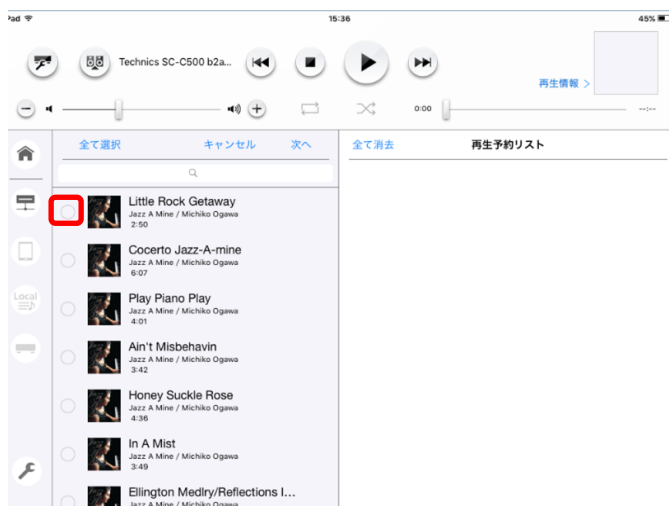
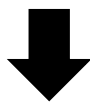
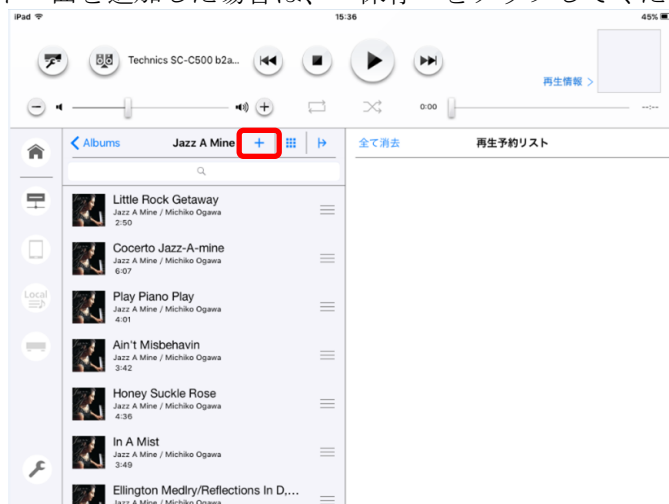
再生予約リストへの曲追加

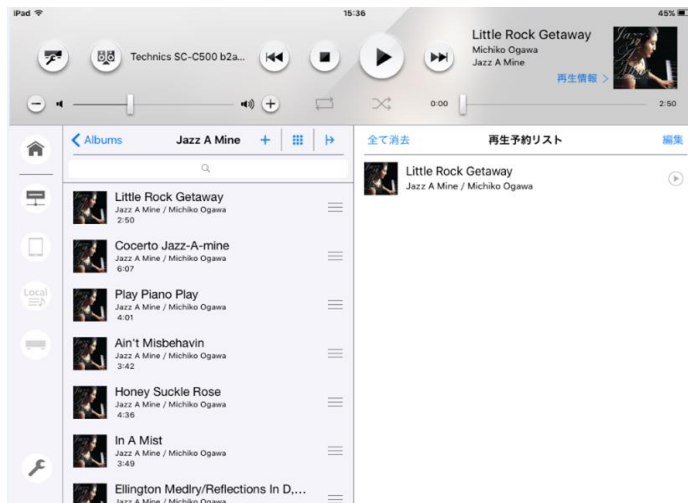
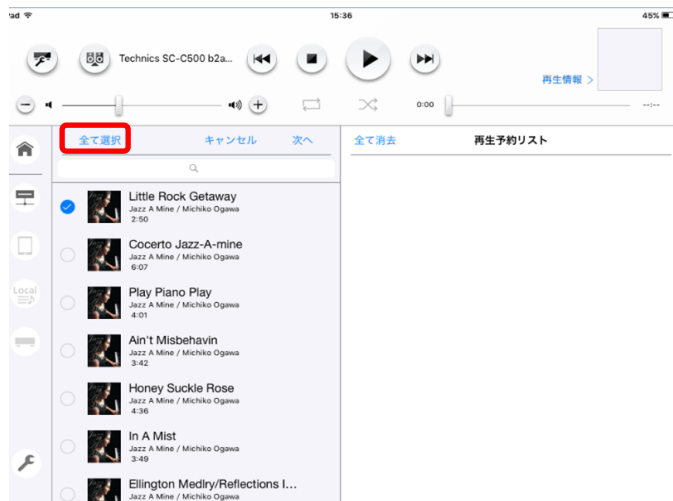
複数曲を再生予約リストに追加することができます。

まず、“+” をタップしてください。そして、再生予約リストに追加したい曲を選択してください。
(複数曲を選択できます。)

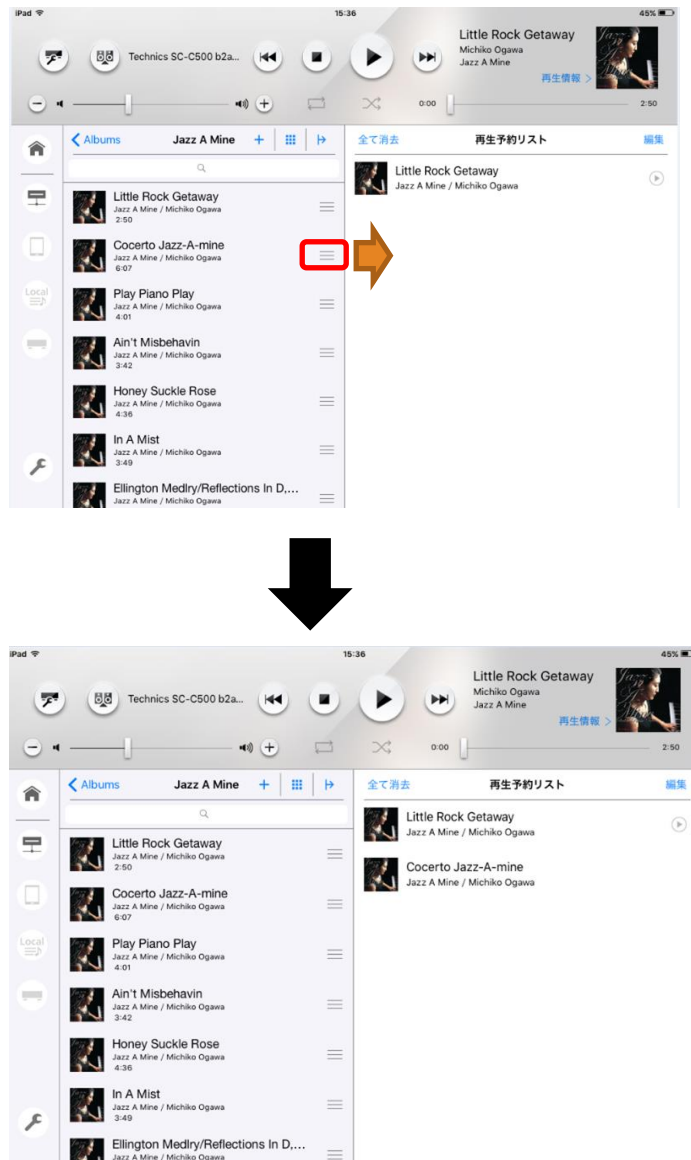
最後に” 次に再生” もしくは” 最後に再生” をタップしてください。

(ローカルプレイリストへ曲を追加した場合は、“保存” をタップしてください。)





タブレットの場合は、別の方法でも再生予約リストに曲を追加する事ができます。
曲の右端にあるアイコンを押したまま、再生予約リストに移動させてください。
(ローカルプレイリストへ曲を追加した場合は、”保存”をタップしてください。)



再生予約リスト内の曲順変更

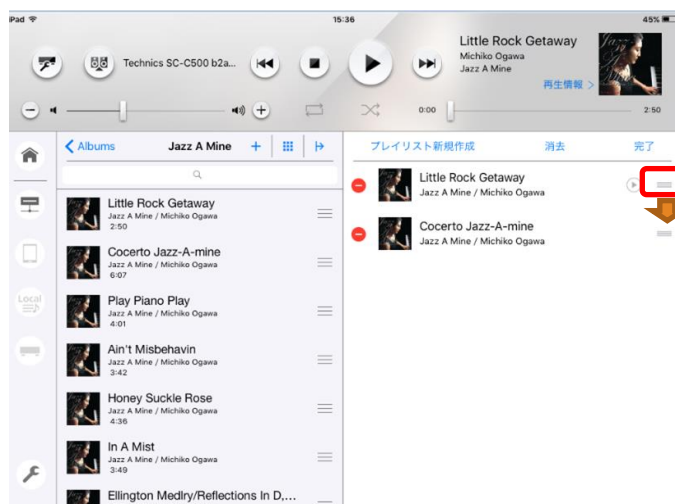
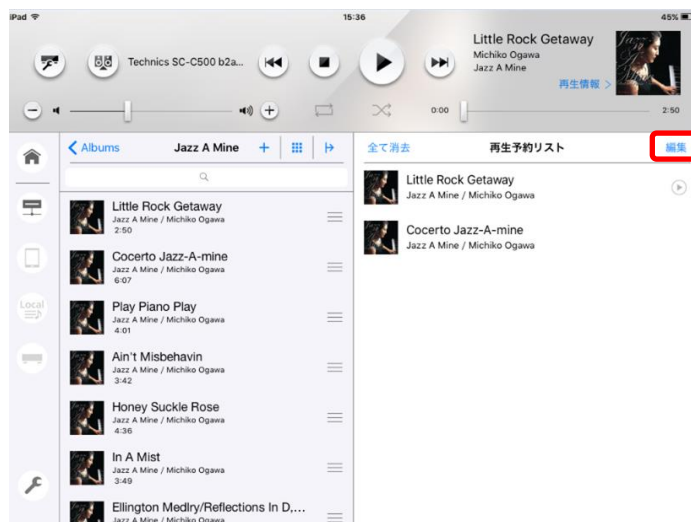
再生予約リスト内の曲順を変更することができます。

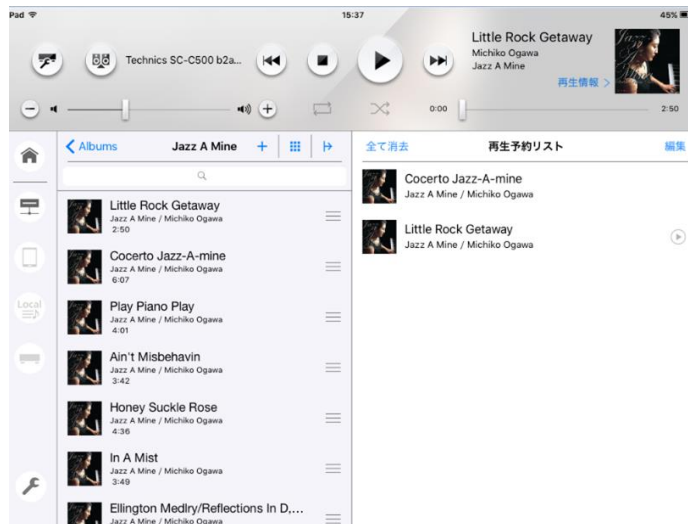
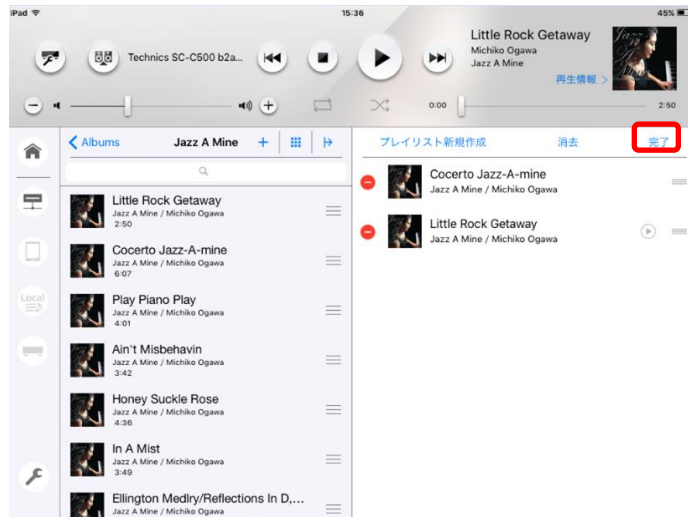
まず、「編集」をタップしてください。

そして、再生予約リスト内の曲の右端にあるアイコンを押したまま、曲を移動させたい位置に動かしてください。

最後に「完了」をタップしてください。

(ローカルプレイリストへ曲を追加した場合は、「保存」をタップしてください。)





Spotify 操作

Technics 機器(SU-G30/OTTAVA™ SC-C500/ SU-G30/OTTAVA™ f SC-C70)との組み合わせで、アプリから、音楽ストリーミングサービス(Spotify)対応の Spotify アプリを起動する事ができます。上記には、Spotify Premium の登録が必要です。詳しくは下記のサイトをご確認ください。

<https://www.spotify.com/jp/connect/>

この機能を使うには、Technics Music App: ver1.5.2 以上をお使いください。

また、OTTAVA™ SC-C500:ver1.23 以上 / SU-G30:ver1.14 以上

にファームアップデートしてください。

詳しくは下記のサポートページをご確認ください。

<http://www.technics.com/support/firmware/>

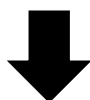
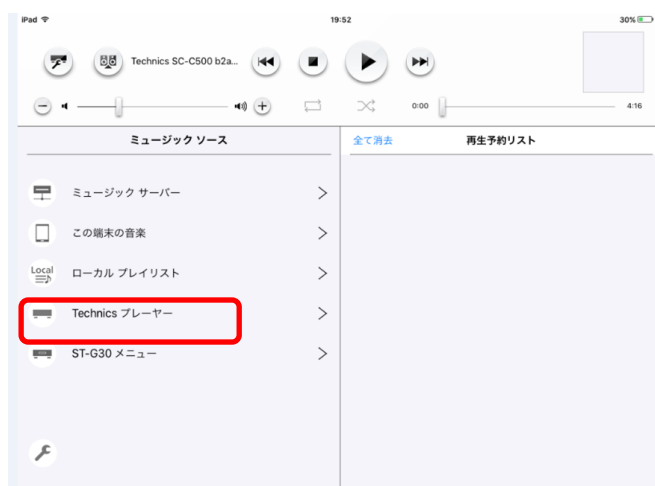
OTTAVA™ f SC-C70 でこの機能を使うには、Technics Music App: ver1.9.0 以上をお使いください。

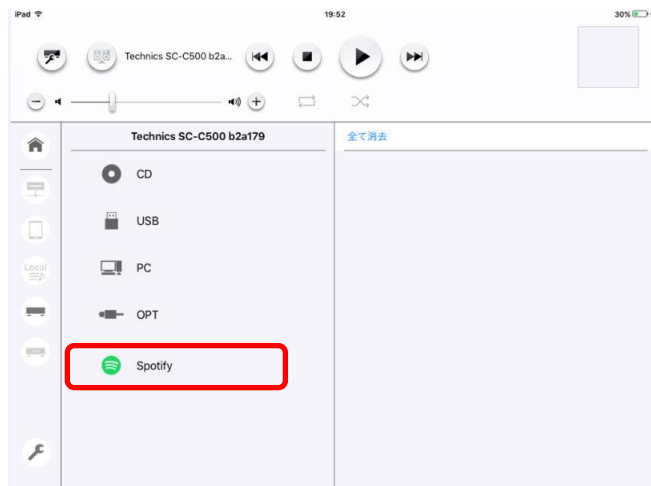
Spotify アプリの起動

スピーカー機器選択で、“DLNA”の Technics 機器を選択してください。

その後、“ミュージック ソース”内の“Technics プレーヤー”をタップしてください。

タップすると、“Spotify”が表示されますので、“Spotify”表示箇所をタップしてください。





Spotify アプリ起動後は、以下の手順に従ってください。

- 1 再生する音楽を選択する。
- 2 再生画面の曲のカバーアートを選択する。
- 3 アイコン  を選択する。
- 4 出力先のスピーカーとして、Technics 機器を選択する。

詳しい手順は下記のサイトをご確認ください。

<https://www.spotify.com/jp/connect/>

Note:

- ご利用には登録が必要です。
- **Spotify Premium** には利用料が発生します。
- サービス内容やアイコン、仕様が予告なく変更・停止になる場合があります。
- **Spotify** を使用する際は、ネットワークがインターネットに接続されている事を確認してください。

MQA 対応

MQA (Master Quality Authenticated) 技術を搭載した Technics 機器にて、MQA 音源を、スタジオのマスター・クオリティと同じ品質で再生することができます。

この機能を使うには、Technics Music App: ver1.8.0 以上をお使いください。

また、SU-G30:ver1.17 以上にファームアップデートしてください。

詳しくは下記のサポートページをご確認ください。

<http://jp.technics.com/support/firmware/>

MQA 音源をマスター・クオリティの音質で再生するには、MQA デコード機能を「On」する必要があります。

以下の手順で Technics 機器の MQA デコード機能の「On」/「Off」を切り換えてください。

操作手順

1. Player Control ボタンをタップして、次に Sound Setting ボタンをタップすると、Sound Setting 画面が表示されます。



2. “MQA Decoding” を切り換えます

- MQA Decoding の表示が 「On」 の場合は、Technics 機器の MQA デコード機能が「On」になります。
- MQAデコード機能を「On」にすると、DIRECTモード、RE-MASTER機能は「Off」になります。



3 MQA 音源を再生します。

- 再生方法は、”DLNAサーバーの曲選択”、もしくは”USBメモリーの曲選択”を参照してください。
- 再生しているMQA音源の情報は、再生画面に表示されます。”再生画面への切り替え”を参照してください。

Note:

- アプリの Sound Setting 画面を表示したまま、Technics 機器側のリモコンで操作した場合は、アプリに情報は反映されません。情報を反映する場合はアプリ上の更新ボタンをタップしてください。



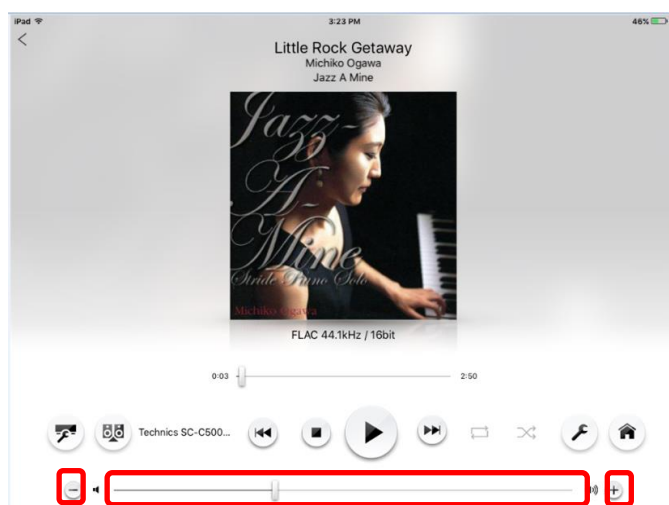
- 「MQA」「MQA Studio」という表示は、Technics 機器が MQA 音源をデコードし再生する音声、ソース情報と同一であることを示しています。
「MQA Studio」という表示は、Technics 機器が再生する音声、アーティスト/プロデューサーによってスタジオで承認された、または著作権者によって承認された MQA Studio 音源であることを示しています。
- 接続したデジタル再生機器の出力設定によっては、MQA 音源をマスター・クオリティの音質で再生できない場合があります。詳しくは、再生機器の取扱説明書をご確認ください。Technics 機器については、下記のサイトをご確認ください。
<http://jp.technics.com/support/>
- MQA 音源以外の音声を再生するときは、MQA デコード機能を「Off」にしてください。
- MQA デコード機能を「On」にすると、「D.Output fs」は「32kHz-192kHz」に設定されます。(デジタル音声出力の機能がある機種のみ)
- DIRECT モード、RE-MASTER 機能を「On」にすると、MQA デコード機能は「Off」になります。(DIRECT モード、RE-MASTER の機能については、お使いの Technics 機器の取扱説明書をご確認ください。)
- MQA 再生状態と共に表示されるサンプリング周波数は、マスタリングプロセスで使用されたオリジナルのサンプリング周波数です。
- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

音量制御/Tone Control

以下の Technics 製品で、アプリの音量バー もしくは 音量ボタンで、音量を制御する事ができます。

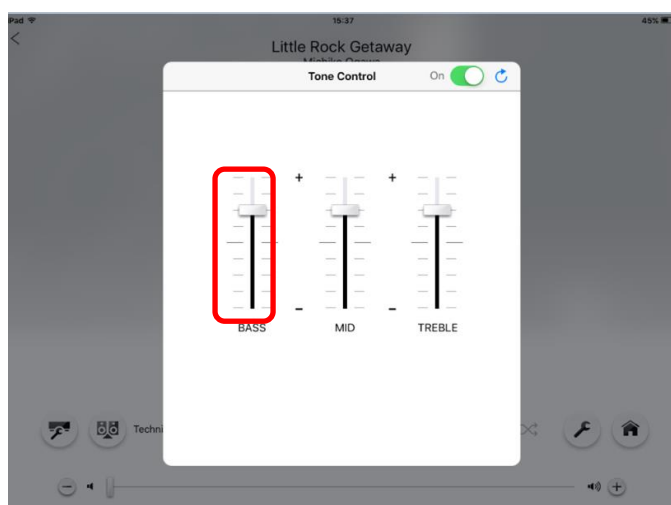
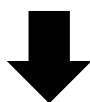
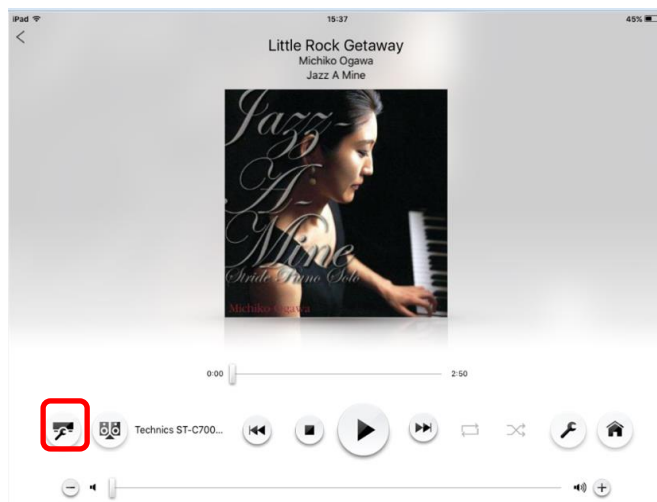
- SU-R1 + SE-R1
- ST-C700 + SU-G700/SU-C700
- OTTAVA™ SC-C500
- SU-G30
- OTTAVA™ f SC-C70

- スピーカー機器として Bluetooth®スピーカーを選択した場合は、音量制御は操作できません。
- 端末の Volume ボタンを押しても、音量制御できない場合があります。

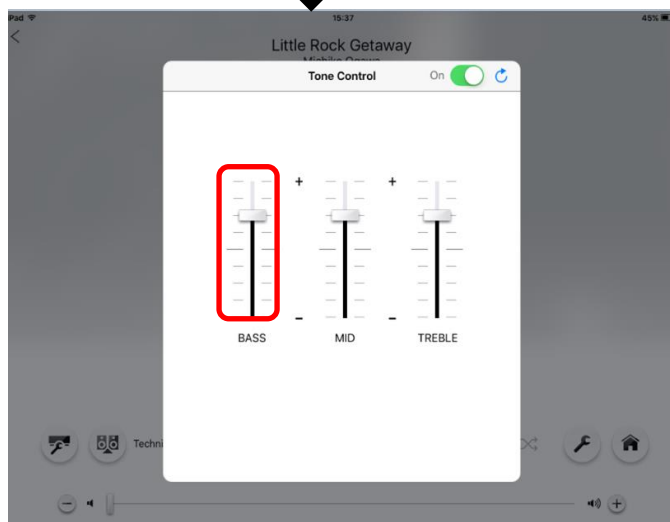
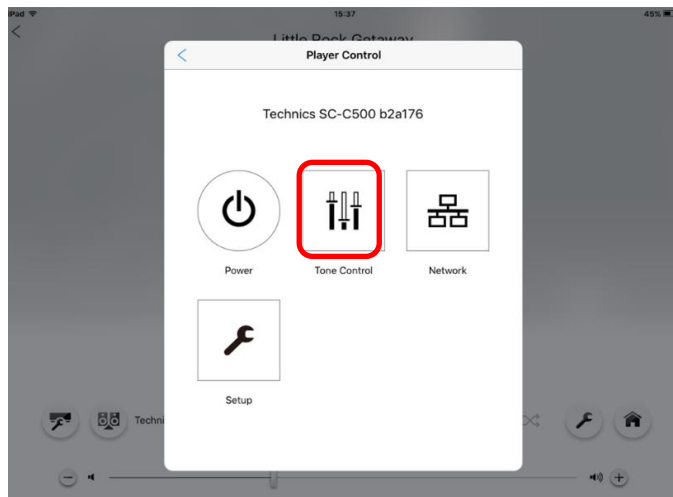
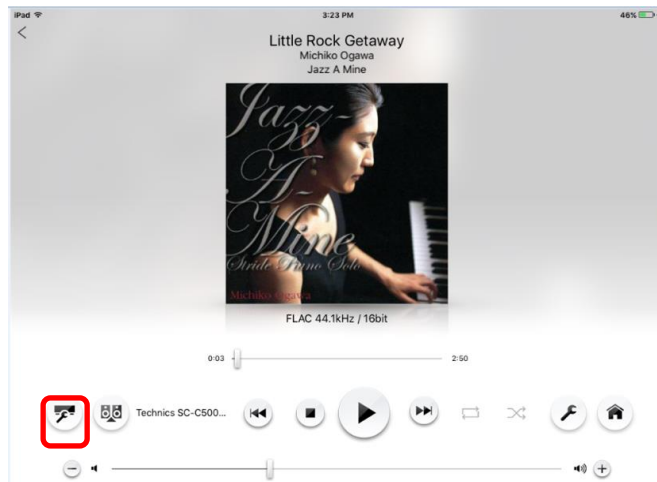


また、Tone Control 操作を行う事ができます。

-ST-C700+SU-G700/SU-C700 もしくは SU-R1+SE-R1 の組み合わせの場合は、Tone Control ボタンをタップすると、Tone Control 操作画面が表示されますので、Bass/Mid/Treble の操作バーを操作してください。



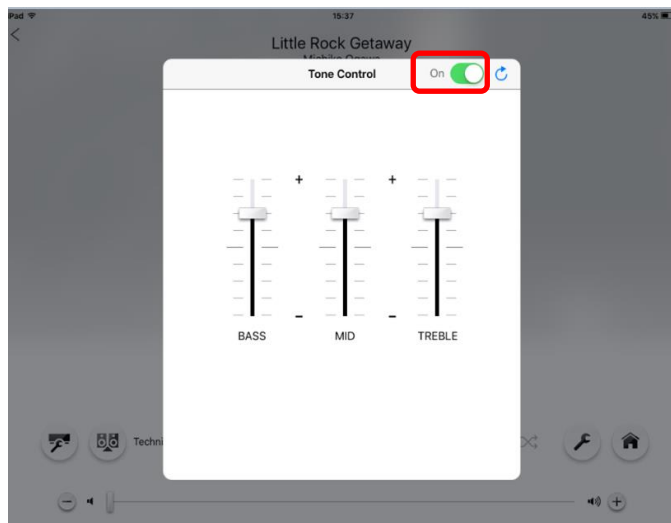
- SU-G30/OTTAVA™ SC-C500/ OTTAVA™ f SC-C70 の場合は、まず、Player Control ボタンをタップして、次に Tone Control ボタンをタップすると、Tone Control 操作画面が表示されますので、Bass/Mid/Treble の操作バーを操作してください。



Note:

- Tone Control 操作画面表示時に、Technics 製品の Bass/Mid/Treble のそれぞれの値を取得し、画面に反映します。

さらに、Tone Control の On/Off も制御できます。



On/Off 状態は以下になります。

-On:



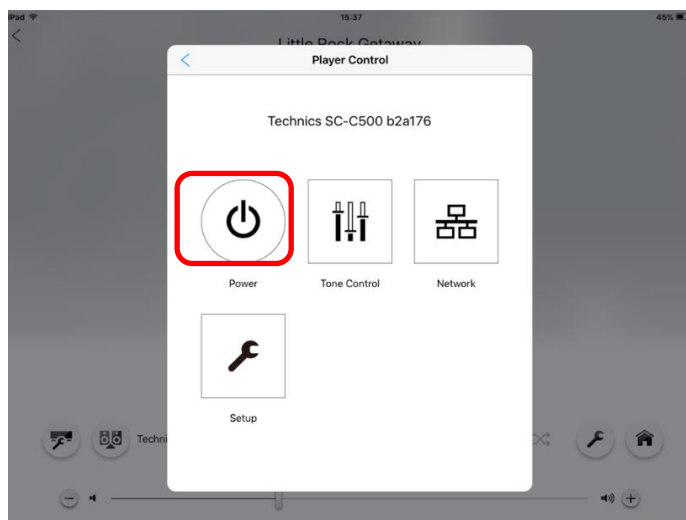
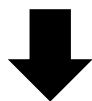
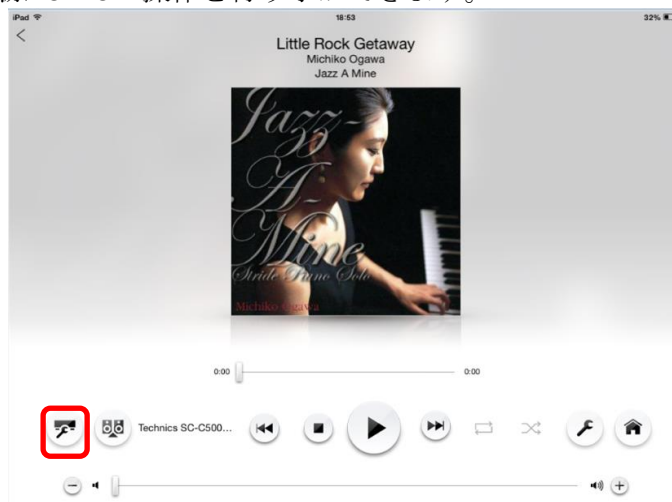
-Off:



Technics 機器の電源操作/設定操作

Technics 機器(SU-G30/OTTAVA™ SC-C500/ OTTAVA™ f SC-C70)の電源操作をアプリから行うことができます。

まず、Player Control ボタンをタップし、Power ボタンをタップしてください。
Technics 機器の電源 On/Off 操作を行うことができます。



Note:

- Technics 機器側の Network Standby が Off の時は、アプリから電源 On 操作はできません。
- アプリから電源 On/Off を操作する場合は、Technics 機器側の表示を確認しながら行ってください。

また、Technics 機器(SU-G30/OTTAVA™ SC-C500/ OTTAVA™ f SC-C70)の設定操作をアプリから行う事ができます。

まず、Player Control ボタンをタップし、Setup ボタンをタップしてください。
以下の操作をアプリから行う事ができます。

< SU-G30 の場合>

- Attenuator(LINE)
- Attenuator(PHONO)
- DIMMER
- SLEEP
- AUTO OFF
- ILLUMINATION
- Beep
- Network Standby
- E Asian Character
- Bluetooth Link Mode

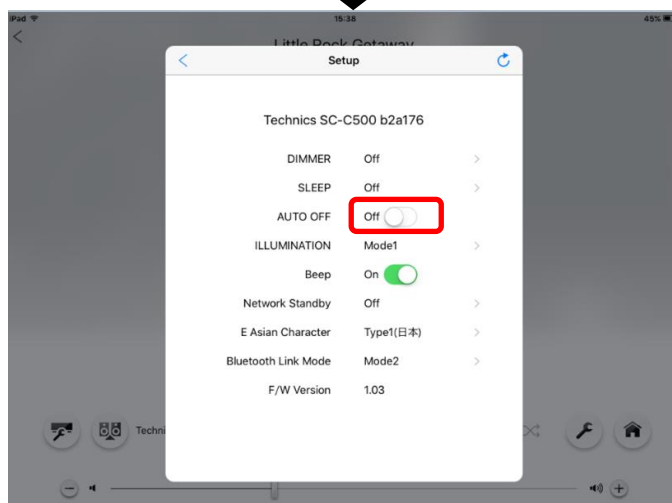
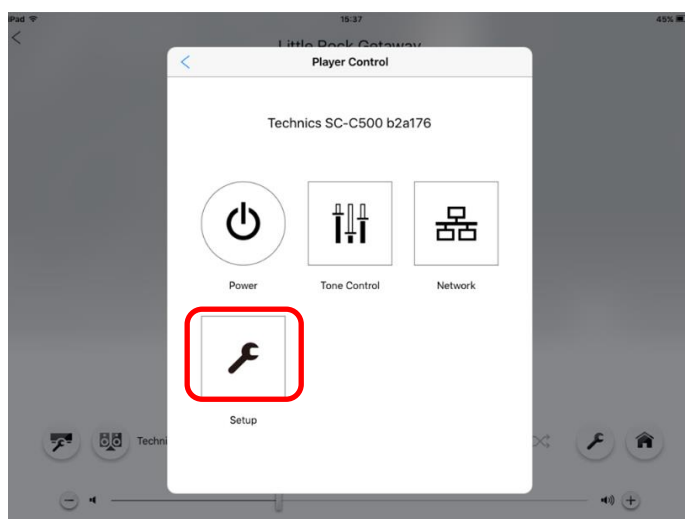
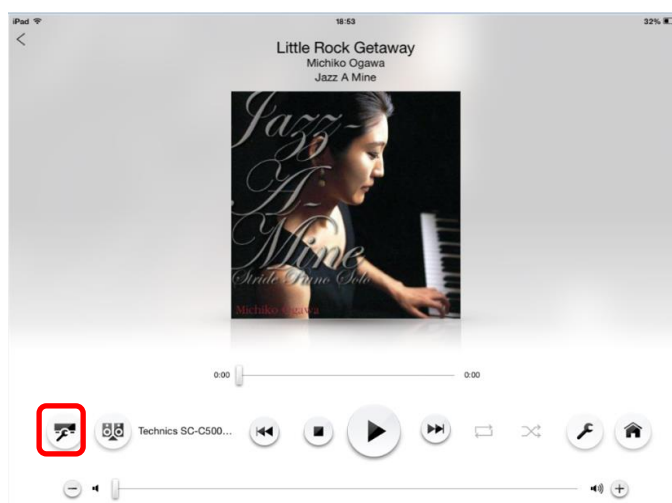
< OTTAVA™ SC-C500 の場合>

- DIMMER
- SLEEP
- AUTO OFF
- ILLUMINATION
- Beep
- Network Standby
- E Asian Character
- Bluetooth Link Mode

< OTTAVA™ f SC-C70 の場合>

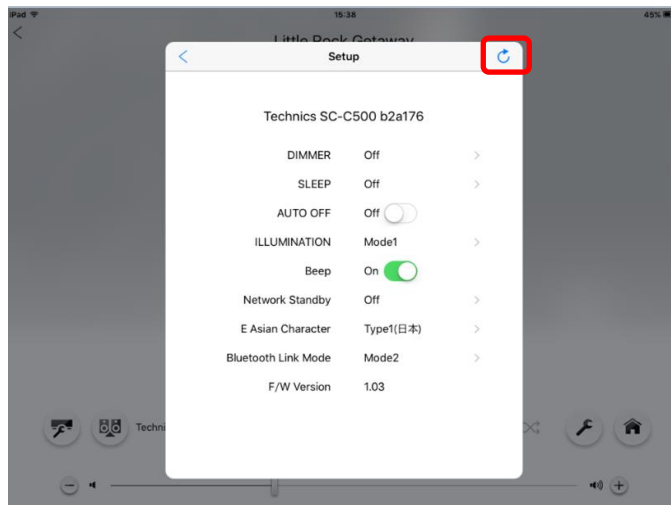
- DIMMER
- SLEEP
- PLAY TIMER
- AUTO OFF
- ILLUMINATION
- Beep
- Standby Display
- Network Standby
- Touch Switch
- E Asian Character
- Bluetooth Link Mode

< 例:OTTAVA™ SC-C500 の場合>



Note:

- アプリの **Setup** 画面を表示したまま、**Technics** 機器側のリモコンで操作した場合は、アプリに情報は反映されません。情報を反映する場合はアプリ上の更新ボタンをタップしてください。

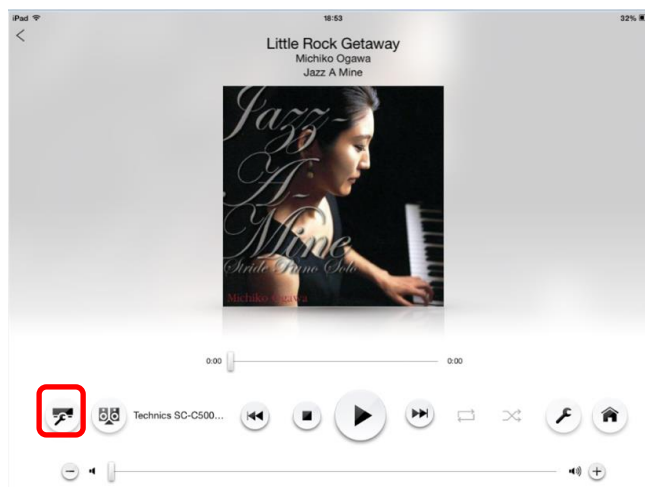


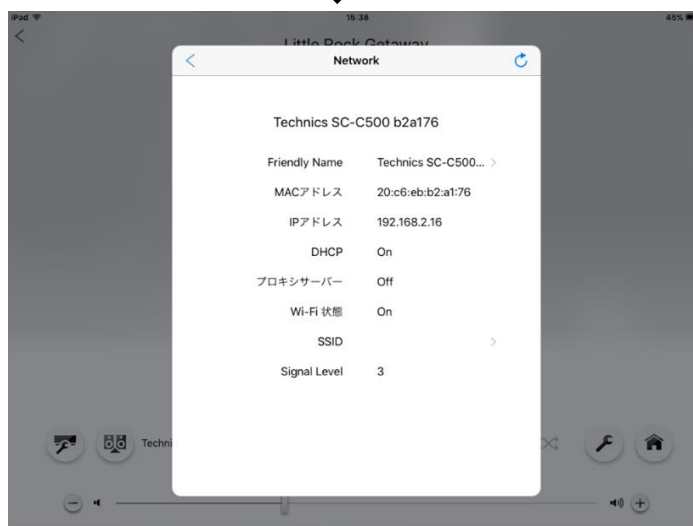
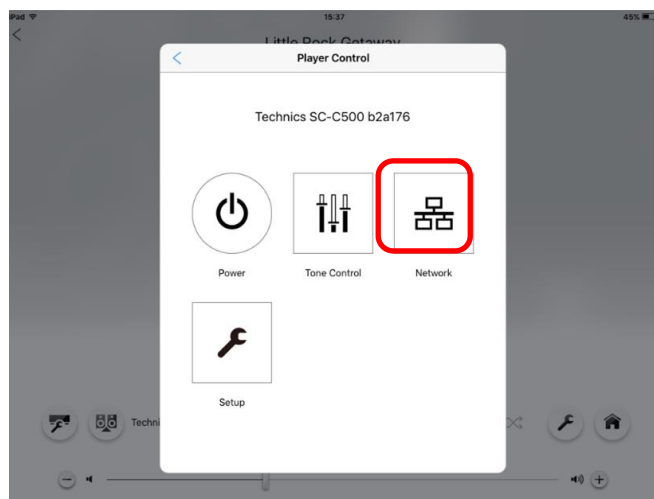
- SU-G30/ OTTAVA™ f SC-C70 は、**Player Control** ボタンをタップし、**Sound Setting** ボタンをタップし音関連の設定をアプリから行う事ができます。

Player Control ボタンをタップし、**Network** ボタンをタップすると、**Technics** 機器 (SU-G30/OTTAVA™ SC-C500/ OTTAVA™ f SC-C70)のネットワーク情報を参照する事ができます。まず、**Player Control** ボタンをタップし、**Network** ボタンをタップしてください。

以下の情報をアプリから参照する事ができます。

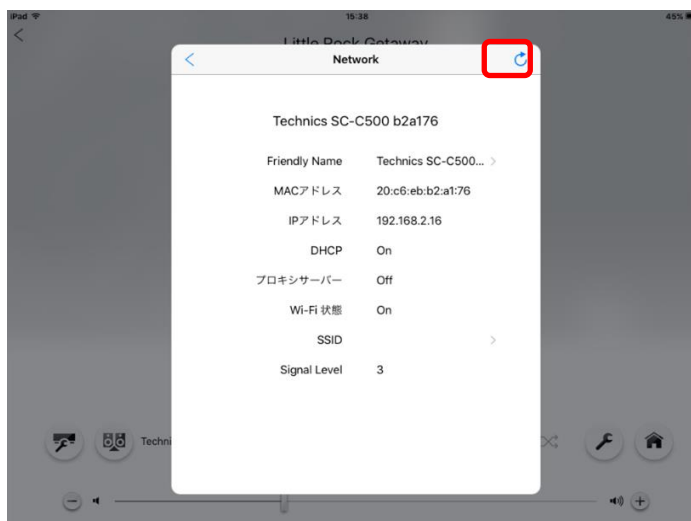
- Friendly name (Friendly name の変更もできます。)
- MAC アドレス
- IP アドレス
- DHCP
- プロキシサーバー
- Wi-Fi 状態





Note:

- アプリの **Network** 画面を表示したまま、**Technics** 機器側のリモコンで操作した場合は、アプリに情報は反映されません。情報を反映する場合はアプリ上の更新ボタンをタップしてください。



Space Tune

本アプリをインストールした iOS 機器を使った周波数特性調整機能により、Technics 機器(OTTAVA™ f SC-C70) を設置した位置と iOS 機器で測定する位置に合わせて最適な音質に近付ける事ができます。

この機能を使うには、Technics Music App: ver1.9.0 以上をお使いください。

詳しくは下記のサポートページをご確認ください。

<http://jp.technics.com/support/firmware/>

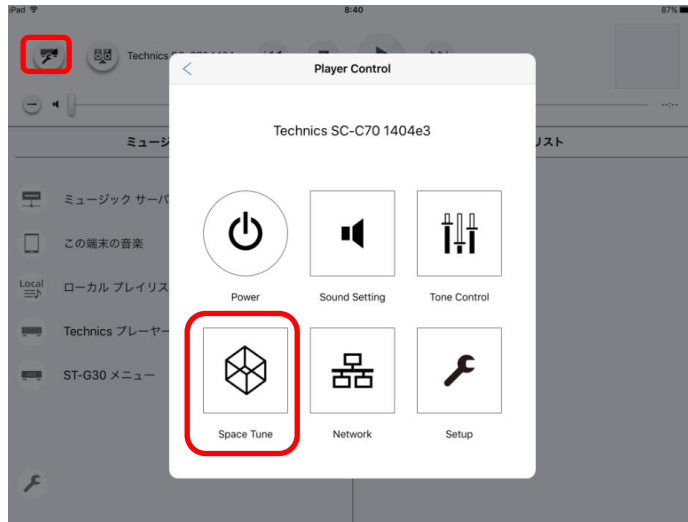
Note:

- Space Tune 測定開始前に、iOS 機器にヘッドホンを接続している場合やカバーをつけている場合は外してください。また、Technics 機器にヘッドホンを接続している場合も外してください。
- Space Tune 測定中は、部屋を静かな環境にしてください。
話し声やエアコンの音、風の音などでエラーや誤った設定となる場合があります。
- Space Tune 測定中は、iOS 機器のマイクを Technics 機器に向けたままにしてください。
また測定中は大きな測定音が出ます。
- Space Tune 測定中にエラーになった場合は、iOS 機器を Technics 機器に近づけてください。
- Space Tune 測定中は、アプリは見える状態にしてください。
- Space Tune 調整範囲は以下になります。

範囲:Technics 機器から 正面 約 7m、左右 各約 30°

操作手順

1. Player Control ボタンをタップして、次に Space Tune ボタンをタップすると、Space Tune 画面が表示されます。



2. Technics 機器を設置した場所（壁際や部屋の隅など）に合わせて、最適な音質に調整することができます。

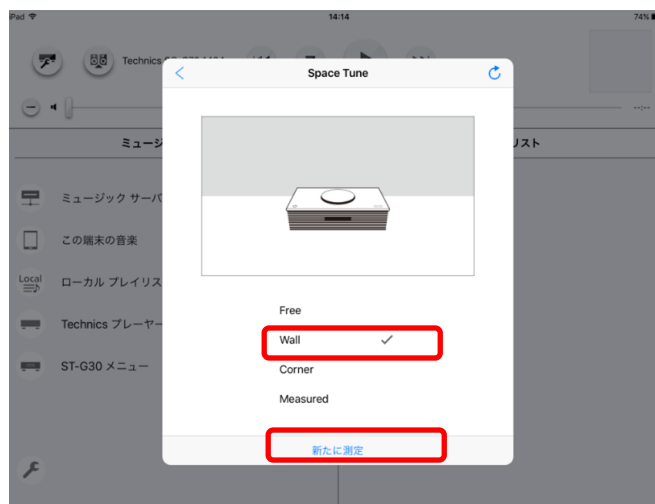
Free : Technics 機器の周囲に壁がない時に設定します。

Wall : Technics 機器の後ろに壁がある時に設定します。（初期値はこちらになります。）

Corner : Technics 機器を部屋の隅に設定した時に設定します。

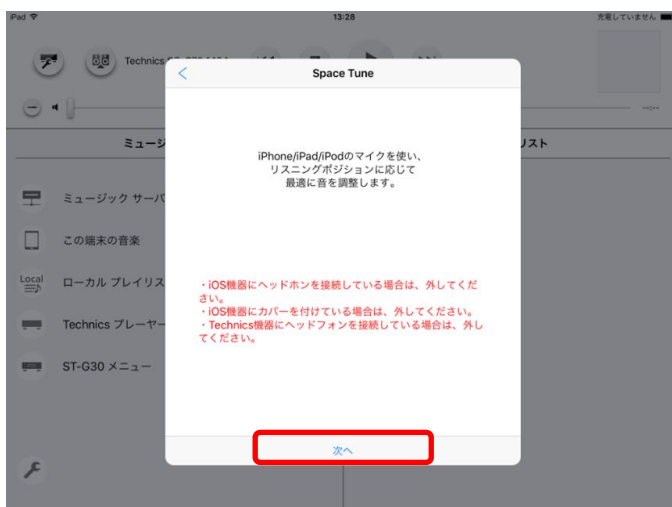
Measured: 3.以降の手順で実施された

Technics 機器を設置した位置と、iOS 機器で測定する位置に合わせた音質に、調整したい時に設定します。（3.以降の手順を実施しない場合は表示されません。）



iOS 機器を使って新たに測定する場合は”新たに測定”をタップしてください。

- 3.測定開始前に、iOS 機器にヘッドホンを接続している場合やカバーをつけている場合は外してください。また、Technics 機器にヘッドホンを接続している場合も外してください。その後“次へ”をタップしてください。

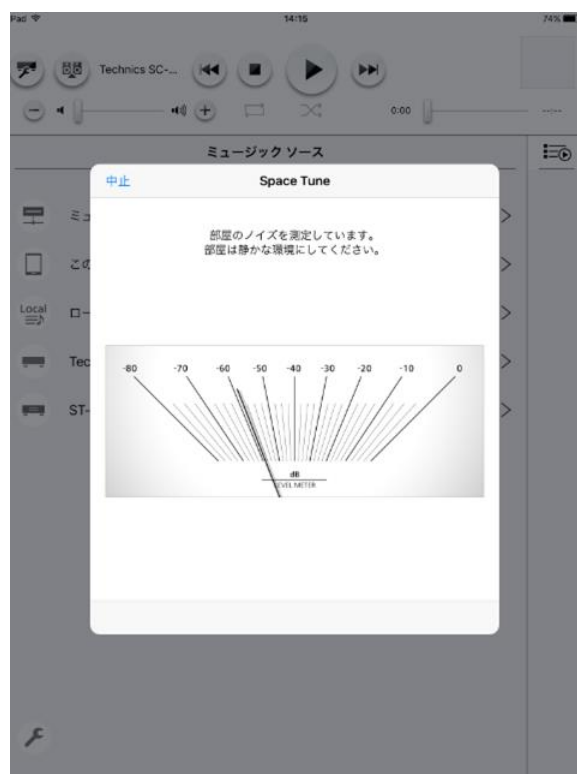


- 4.図の説明に従って、iOS 機器を持ち、機器のマイクを Technics 機器に向けてください。その後、“ノイズ測定開始”をタップしてください。

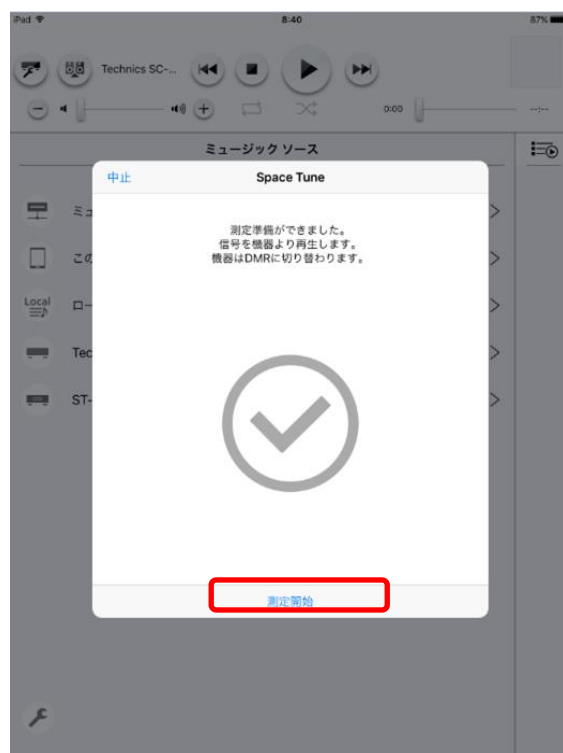


Note: ・マイクへのアクセス許可の画面が表示された場合は”OK”をタップしてください。

5. ノイズ測定を開始します。



6. ノイズ測定が成功すると、以下の画面が表示されます。次に“測定開始”をタップしてください



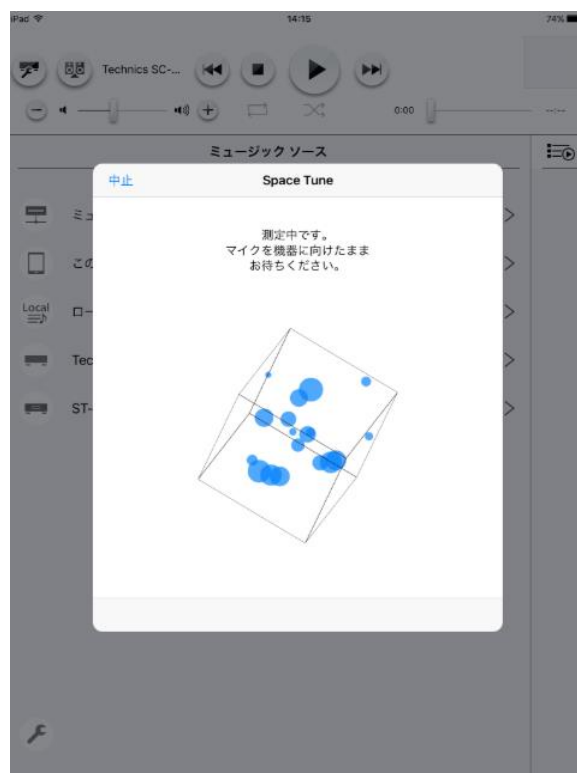
- Note:
- ・ノイズ測定失敗画面が表示された場合は、部屋の環境を静かにし、再度 5.のノイズ測定を実施してください。
 - ・測定開始をタップ後、Technics 機器は DMR に切り替わります。

7 .iOS 機器のマイクゲイン調整を行うため、Technics 機器から調整音が再生されます。(約 5 秒)



- Note:
- ゲイン調整に失敗した場合は、部屋の環境を静かにし、iOS 機器のマイクを Technics 機器に近づけて、再度手順 3.から実施してください。

8.マイクゲイン調整が成功すると、続けて、Technics 機器から測定音が再生され(約 10 秒)、測定を行います。

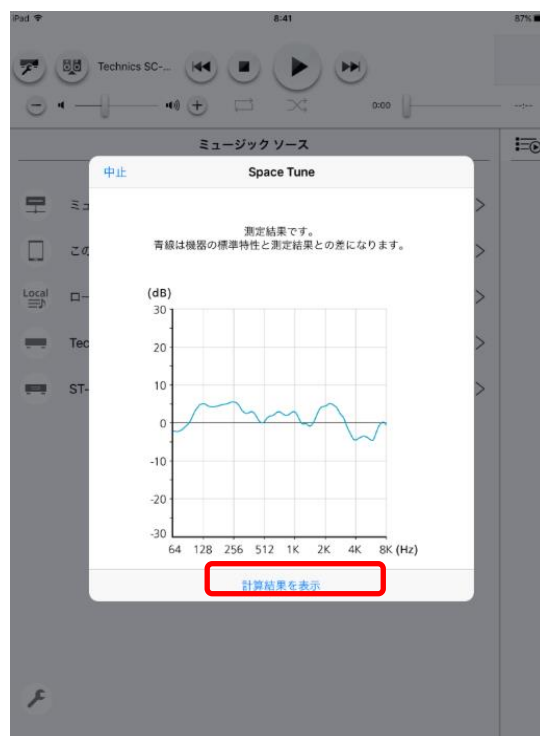


- Note:
- ・測定中は大きな測定音が出ます。
 - ・測定に失敗した場合は、部屋の環境を静かにし、iOS 機器のマイクを Technics 機器に近づけて、再度手順 3.から実施してください。

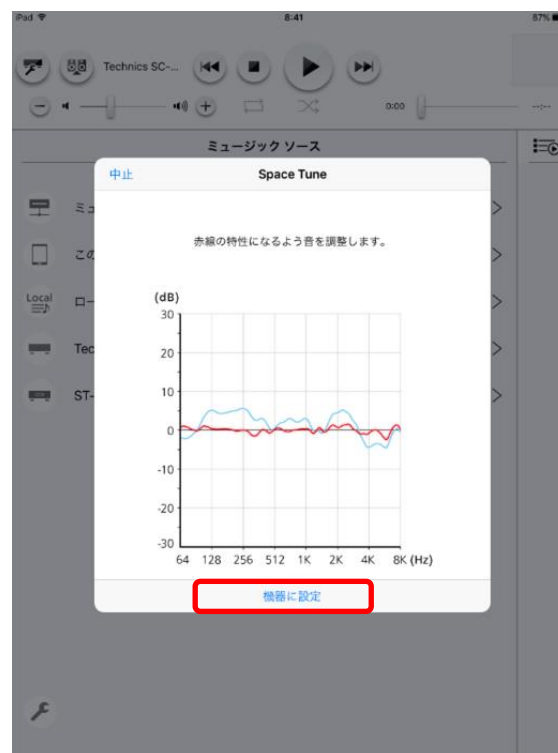
9.測定が成功すると、以下の画面が表示されます。”次へ”をタップしてください。



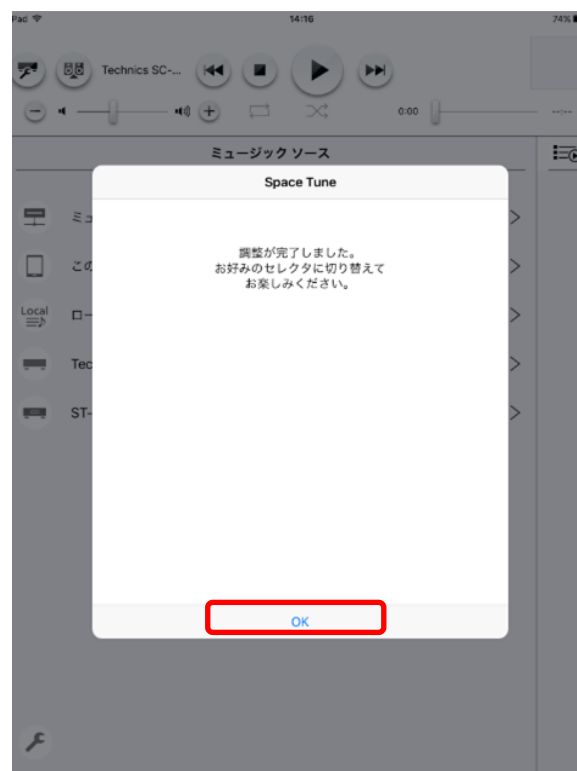
10.測定結果を青線でグラフ表示します。Technics 機器の標準特性と測定結果との差を表示します。
”計算結果を表示”をタップして次に進めてください。



- 11 .赤色の目標特性をグラフ表示します。”機器に設定”をタップすると、目標特性の音設定をTechnics 機器に設定します。



- 12 .設定が完了すると、以下画面が表示されます。”OK”をタップすると完了です。



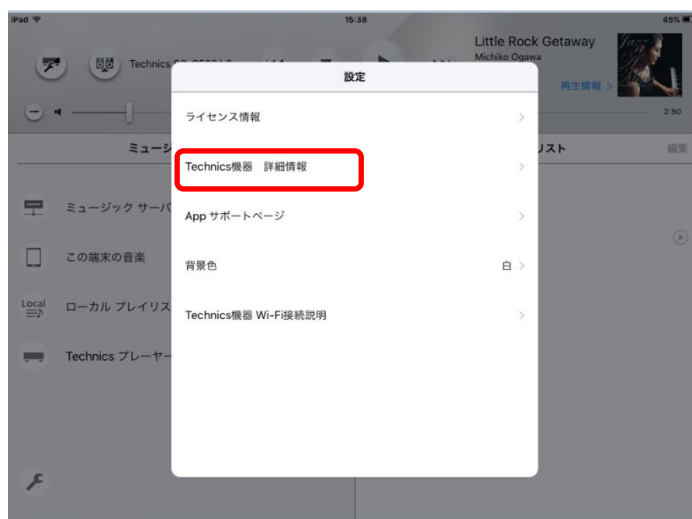
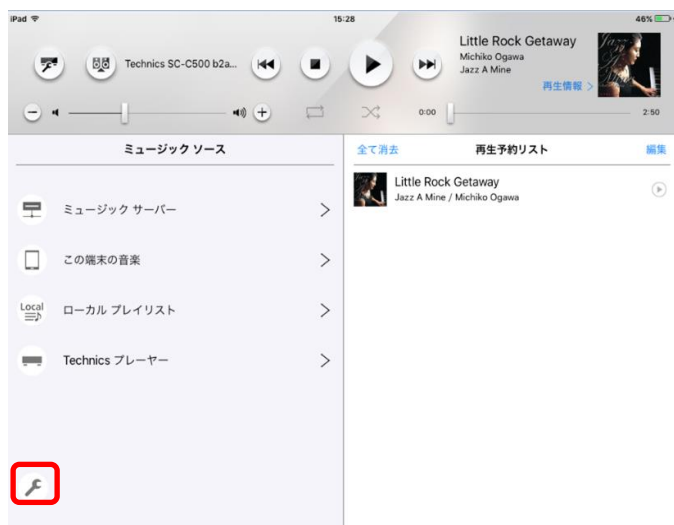
Note: ・Space Tune 開始前に Tone Control を設定していた場合は、Tone Control 設定確認画面が表示されます。お好みに応じて Tone Control を設定してください。

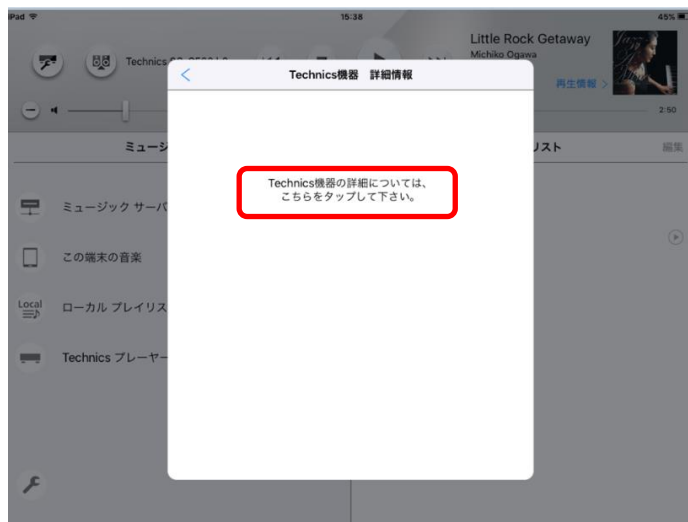
Technics 詳細情報

Technics 機器の詳細情報にアクセスする事ができます。

“ミュージック ソース”画面下に表示される設定ボタンをタップし、“Technics 機器 詳細情報”をタップしてください。

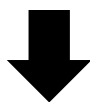
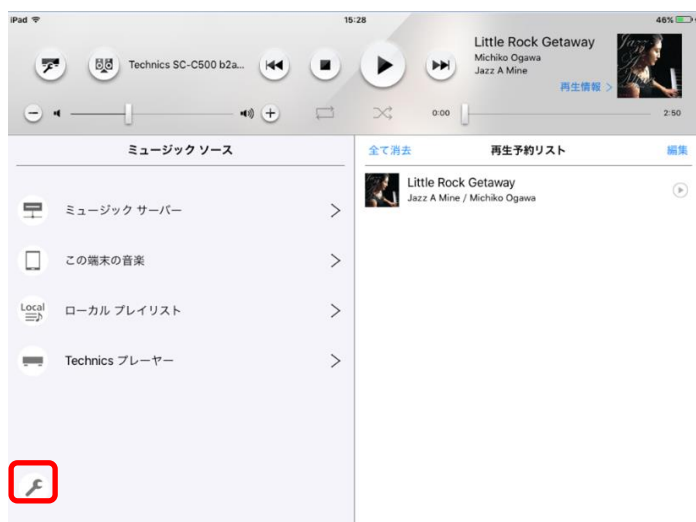
そして、“Technics 機器の詳細については、こちらをタップしてください。”をタップすると、Technics のサポートサイトにアクセスする事ができます。

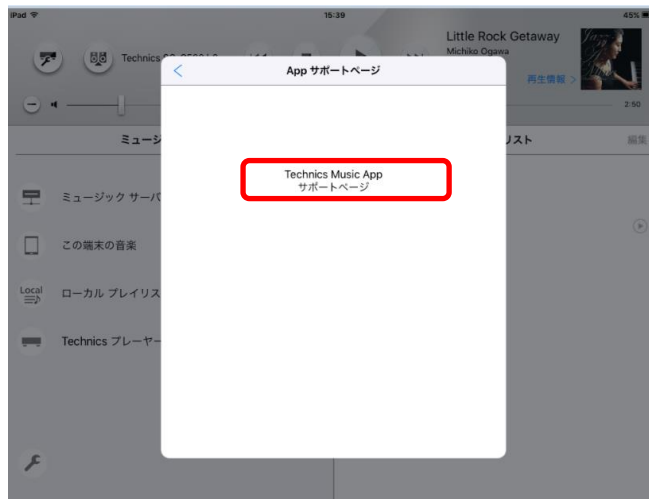
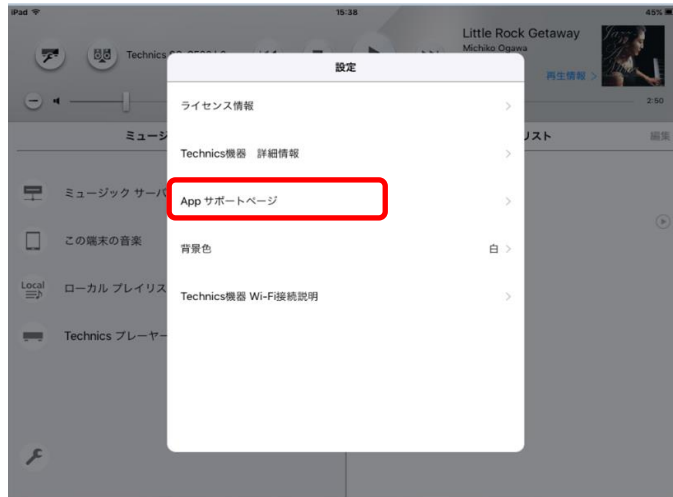




Technics Music App サポートページ

Technics Music App の詳細情報にアクセスする事ができます。
“ミュージック ソース”画面下に表示される設定ボタンをタップし、“App サポートページ”を
タップしてください。
そして、“Technics Music App サポートページ”をタップすると、
Technics Music App のサポートサイトにアクセスする事ができます。

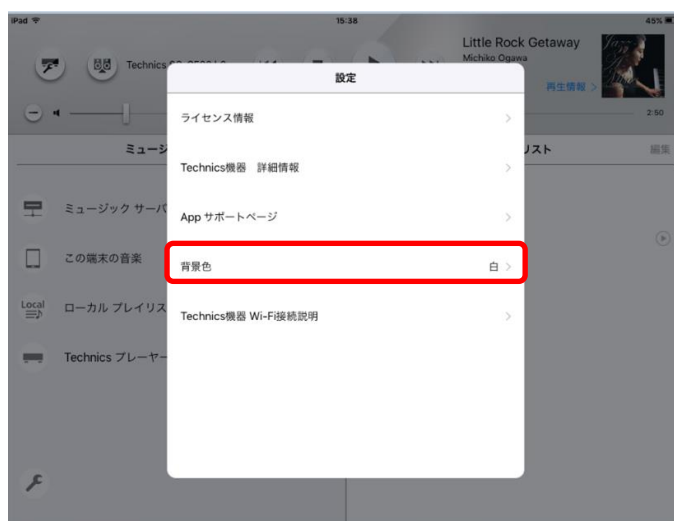


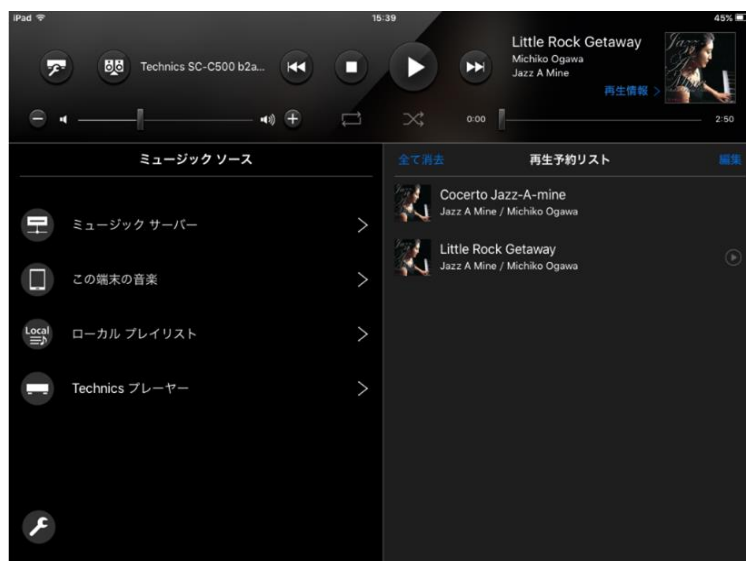
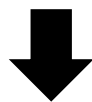
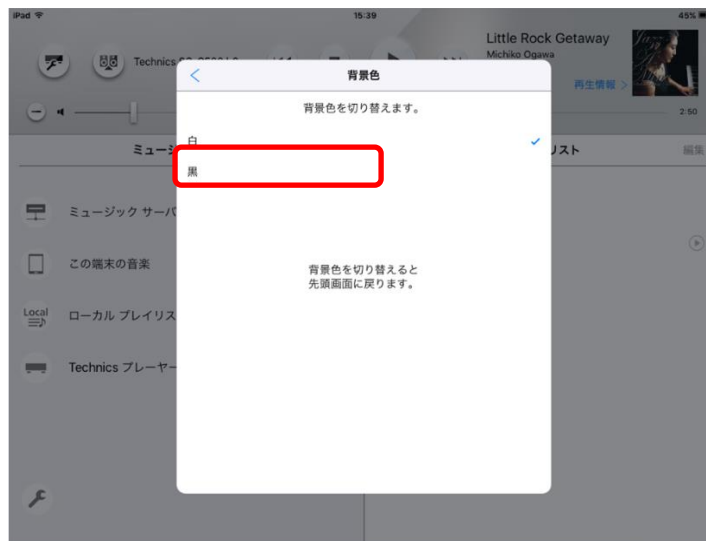


アプリ背景色切り替え

アプリ上の背景色を白 or 黒に切り替える事ができます。

“ミュージック ソース” 画面下に表示される設定ボタンをタップし、“背景色” をタップしてください。そして、背景色を選択してください。





Note:

- ・背景色を切り替えると、アプリの先頭画面に戻ります。
- ・Technics プレーヤー 以下では背景色切り替えできません。

故障かな!?

メッセージ

“サーバーに接続できません。”

“サーバーが切断されました。”

DLNA サーバー もしくは NAS がネットワーク上で接続されていない可能性があります。
ネットワークの接続を確認してください。

“スピーカー機器が切断されました。”

“スピーカー機器に接続できません。”

“Technics 機器と接続できません。”

スピーカー機器がネットワーク上で接続されていない可能性があります。

以下を確認してください。

- ・ 電子レンジや2.4 GHz帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れることがあります。本機と機器を離してお使いください。
- ・ お使いの無線ブロードバンドルーターが5 GHz帯の電波に対応している場合、5 GHz 帯の電波での接続をお試してください。5 GHz 帯に変更するにはインターネットブラウザを使う接続をやり直してください。(詳細は、Technics機器の取扱説明書をご参照ください。ただし、OTTAVA™ f SC-C70は除く。)
- ・ 金属キャビネットの中など電波を遮るようなところにTechnics機器を置かないでください。
- ・ 再生が中断された場合は、接続機器の再生状態を確認してください。
- ・ Technics機器とルーターを近づけてご使用ください。
- ・ 「Signal Level」でWi-Fi 接続の信号の度合いを確認し、ルーターの位置などを調整してください。
- ・ 複数の無線機器がルーターに接続されている時は、使用していない機器の電源を切るか、同時に複数の機器を使用するのを控えてください。
- ・ 接続機器のネットワーク接続を切/ 入してから、Technics機器と接続し直してください。
- ・ 無線ブロードバンドルーターの電源を切/ 入してください。
- ・ 有線 LAN 接続を行ってください。

“Technics 機器と接続できません。再生予約リストを消去します。”

- ・ アプリと Technics 機器との接続が、ネットワーク上で切断された可能性があります。
再度アプリから選曲し、再生を行ってください。

- ・ もしくは、Technics 機器がネットワーク上で接続されていない可能性があります。
以下を確認してください。

- 電子レンジや2.4 GHz帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れることがあります。本機と機器を離してお使いください。
- お使いの無線ブロードバンドルーターが5 GHz帯の電波に対応している場合、5 GHz 帯の電波での接続をお試してください。5 GHz 帯に変更するにはインターネットブラウザを使う接続をやり直してください。(詳細は、Technics機器の取扱説明書をご参照ください。ただし、OTTAVA™ f SC-C70は除く。)
- 金属キャビネットの中など電波を遮るようなところにTechnics機器を置かないでください。
- 再生が中断された場合は、接続機器の再生状態を確認してください。

- Technics機器とルーターを近づけてご使用ください。
- 「Signal Level」でWi-Fi 接続の信号の度合いを確認し、ルーターの位置などを調整してください。
- 複数の無線機器がルーターに接続されている時は、使用していない機器の電源を切るか、同時に複数の機器を使用するのを控えてください。
- 接続機器のネットワーク接続を切/入してから、Technics機器と接続し直してください。
- 無線ブロードバンドルーターの電源を切/入してください。
- 有線 LAN 接続を行ってください。

“再生ができません。”

DLNA サーバー もしくは NAS がネットワーク上で接続されていない可能性があります。
また、再生予約リストの曲が保存されている NAS が、ネットワーク上で接続されていない可能性があります。
ネットワークの接続を確認してください。
もしくは

スピーカー機器がネットワーク上で接続されていない可能性があります。
ネットワークの接続を確認してください。
もしくは

スピーカー機器が再生できない曲を選択している可能性があります。
選択した曲を確認してください。

“曲が選択されていません。”

曲が選択されていません。曲を選択してください

その他

- ・ 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れることがあります。本機と機器を離してお使いください。
- お使いの無線ブロードバンドルーターが5 GHz帯の電波に対応している場合、5 GHz 帯の電波での接続をお試してください。5 GHz 帯に変更するにはインターネットブラウザを使う接続をやり直してください。（詳細は、Technics機器の取扱説明書をご参照ください。ただし、OTTAVA™ f SC-C70は除く。）
- ・ 金属キャビネットの中など電波を遮るようなところにTechnics機器を置かないでください。
- ・ 再生が中断された場合は、接続機器の再生状態を確認してください。
- ・ Technics機器とルーターを近づけてご使用ください。
- ・ 「Signal Level」でWi-Fi 接続の信号の度合いを確認し、ルーターの位置などを調整してください。
- ・ 複数の無線機器がルーターに接続されている時は、使用していない機器の電源を切るか、同時に複数の機器を使用するのを控えてください。
- ・ 接続機器のネットワーク接続を切/入してから、Technics機器と接続し直してください。
- ・ 無線ブロードバンドルーターの電源を切/入してください。
- ・ 有線 LAN 接続を行ってください。

- ・CD の再生が止まる。もしくは次曲にスキップする。

CD 再生停止状態で、このアプリをバックグラウンドに遷移、もしくは端末がスリープの状態から、再度アプリを再生させると再生が停止、もしくは次曲にスキップする場合があります。その際は、再度アプリで選曲し、再生を行ってください。

ネットワークサービスについて

サービス事業者が提供するサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

著作権など

- ・ AirPlay、iPad、iPhone、iPod、iPod touch は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。

iPad Air、iPad mini は、Apple Inc. の商標です。

iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

- ・ Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。
他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

ライセンスアプリケーション・エンドユーザー使用許諾契約

■ ライセンスアプリケーション・エンドユーザー使用許諾契約

お客様にApp Storeを通じて提供される Technics Application（以下「ライセンスアプリケーション」といいます）は、このライセンスアプリケーション・エンドユーザー使用許諾契約（以下「本使用許諾契約」といいます）への事前の同意を条件として、パナソニック株式会社（以下「ライセンサー」といいます）がお客様に使用を許諾するものであり、販売するものではありません。ライセンサーは、本使用許諾契約で明示的にお客様に付与されていないすべての権利を留保します。

ライセンスアプリケーションには、ライセンサーが保有しているかまたは使用許諾されているプロプライエタリなコンピュータ・プログラムの他に、いくつかのオープンソースソフトウェアのプログラム（以下「オープンソースコンポーネント」といいます）が含まれています。オープンソースコンポーネントに関しては、j.に規定する適用ライセンス条件をご参照ください。万一、オープンソースコンポーネントのライセンスの記述と本使用許諾契約の記述との間で矛盾が生じた場合は、オープンソースコンポーネントのライセンスの記述が優先されます。

a. 使用許諾の範囲

ライセンサーがお客様に付与したライセンスアプリケーションに関する本使用許諾契約は、お客様が所有または管理し、かつ、App Store サービス規約で規定する利用ルール（以下「本利用ルール」といいます）で認められた、iOS を起動できるデバイス（iPad、iPhone および iPod touch を含みますがこれらに限りません）（以下「iOS デバイス」といいます）上で、ライセンスアプリケーションを使用する譲渡不能のライセンスに限定されます。本使用許諾契約は、お客様に対し、お客様が所有または管理しない iOS デバイス上で、ライセンスアプリケーションを使用することを認めておらず、お客様は、ライセンスアプリケーションを配布したり、同時に複数のデバイスから使用することができるネットワーク上でライセンスアプリケーションを利用可能にしたりすることはできません。お客様は、ライセンスアプリケーションのレンタル、リース、貸与、販売、再配布またはサブライセンスをすることはできません。お客様は、ライセンスアプリケーション、そのアップグレード、またはそれらの一部もしくは派生物（ライセンサーまたは第三者が保有または管理する情報またはステレオ、スピーカー、ブルーレイディスクプレーヤー／レコーダー等の AV 機器、サーバー等との間で通信または交換される情報を含みこれらに限りません）について、複製（本使用許諾契約および本利用ルールで明示的に認められている場合を除きます）、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、ソースコードの解明の試み、改変、または二次的著作物の創作を行うことはできません（但し、上記の制約が、適用法令により禁止される場合、または、ライセンスアプリケーションに含まれるオープンソースコンポーネントの使用に関する許諾条件により許容される場合にはこの限りではありません）。かかる行為のいかなる試みも、ライセンサーおよびその使用許諾元の権利の侵害となります。お客様がこの制約に違反した場合、お客様は、起訴および損賠賠償請求される場合があります。

本使用許諾契約の条件は、アップグレードに適用される別の使用許諾条件が当該アップグレードに同梱されてい

ない限り、元のライセンスアプリケーションを取り替えまたは補足するライセンサーが提供する一切のアップグレードに適用されます。

b. 解除

本使用許諾契約は、お客様またはライセンサーが解除するまで有効です。本使用許諾契約に基づくお客様の権利は、本使用許諾契約の条件のいずれかにお客様が違反した場合、ライセンサーが通知をすることなく、自動的に終了します。本使用許諾契約の終了に伴い、お客様は、ライセンスアプリケーションの使用を全て中止し、ライセンスアプリケーションの複製物を、その全部または一部を問わず、全て破棄しなければなりません。

c. サービス、第三者のマテリアル

ライセンスアプリケーションにより、ライセンサーおよび第三者のサービスおよびウェブサイト（以下、それぞれ「ライセンサーサービス」または「第三者サービス」といい、総称して「本サービス」といいます）にアクセスすることができます。本サービスの利用には、インターネットアクセスおよび追加のサービス規約の承諾が必要になる場合があります。お客様は当該承諾無く本サービスを利用しないことに同意されたものとします。お客様は、第三者サービスについてライセンサーが責任を負うものではないことに同意いたします。第三者サービスは、ライセンサー以外の第三者により提供されており、ライセンサーの管理の下で提供されているものではありません。また、本サービスに第三者サービスが含まれていることが、ライセンサーによる支援や後援を黙示に示唆するものではありません。

お客様は、本サービスをご利用いただくことにより、露骨な表現によるか否かを問わず、不快、わいせつ、または問題があるとみなされる可能性のあるコンテンツに出くわす場合があること、ならびに、検索や特定の URL に接続した結果、自動的に、問題があるとみなされる可能性のあるコンテンツにリンクし、または参照する場合があることについて、了解されたものとします。しかしながら、お客様はご自身の責任により本サービスをご利用いただくことに同意されたため、ライセンサーは、お客様に対し、不快、わいせつ、または問題があるとみなされる可能性のあるコンテンツに関する責任を一切負いません。

本サービスは、第三者のコンテンツ、データ、情報、アプリケーション、またはマテリアル（以下「第三者マテリアル」といいます）を表示し、含み、あるいはそれらを利用可能にし、あるいは、第三者のウェブサイトへのリンクを提供する場合があります。お客様は、本サービスをご利用されることにより、ライセンサーが当該第三者マテリアルまたはウェブサイトのコンテンツ、正確性、完全性、適時性、有効性、著作権遵守、適法性、適正性、品質、またはその他のいかなる側面についても調査または評価する責任を負わないことを了解し、同意されたものとします。ライセンサーは、第三者の本サービス、第三者マテリアル、またはウェブサイト、あるいは、その他の第三者のあらゆるマテリアル、商品またはサービスに対する義務または責任について、一切保証、承認、負担せず、かつ、これらを有しないものとします。第三者マテリアルおよび他人のウェブサイトへのリンクは、お客様の便宜のためにのみ提供されます。本サービスにより表示される金融情報は、一般的情報提供のみを目的

とするものであり、投資アドバイスとして依拠されることは意図しておりません。本サービスを通じて取得した情報に基づきいかなる証券取引を行なう前にも、お客様は、金融の専門家にご相談ください。本サービスから提供される所在地データは、基本的な調査にのみ利用されることを目的としており、かつ、正確な位置情報が必要とされる場合や、所在地データの誤り、不正確性、もしくは不完全性が、死亡、人身傷害、財産上もしくは環境上の損害を引き起こす場合に、かかるデータに依拠されることは意図しておりません。リアルタイムでのルート案内のご利用は、お客様の責任で行ってください。位置情報データは正確でない場合があります。ライセンサーまたはそのコンテンツの提供者は、本サービスが表示する株式情報または所在地データの利用可能性、正確性、完全性、信頼性、もしくは適時性について、一切保証いたしません。

お客様は、本サービスが、著作権等を含む適用のある知的財産権およびその他の法令により保護される財産的価値を有するコンテンツ、情報、およびマテリアルを含むこと、ならびに、お客様がこれら財産的価値を有するコンテンツ、情報、およびマテリアルを本サービスにおいて許諾された利用および本使用許諾契約において許諾された利用以外のいかなる方法においても利用しないことに同意されたものとします。

いかなる形態または方法によるものであっても、本サービスのいかなる部分の複製も禁止されております。お客様は、方法の如何にかかわらず、本サービスの修正、レンタル、リース、貸与、販売、配布、または本サービスに基づく二次的著作物の創作を行わないことに同意されたものとし、お客様は、不法侵入やネットワーク容量に負荷をかけること等、許可されていない方法により、本サービスを不正利用してはなりません。さらに、お客様は、本サービスを、ハラスメント、権利濫用、ストーカー、脅迫、名誉毀損、または、その他の第三者の権利の侵害もしくは違反になる方法で、利用しないこと、ならびに、ライセンサーは、方法の如何を問わず、お客様によるそのような利用、および、本サービスの利用によりお客様が受け取ったハラスメント的、脅迫的、名誉毀損的、攻撃的、もしくは違法なメッセージまたは送信について、一切責任を負わないことに同意されたものとします。

また、iOS デバイスからアクセスされ、これらに掲載され、またはリンクされた本サービスおよび第三者マテリアルは、あらゆる言語で、また、あらゆる国において、利用可能というわけではありません。ライセンサーは、かかる本サービスおよび第三者マテリアルが特定の地域における利用にとって適切または利用可能であることについて、いかなる表明もいたしません。お客様がかかる本サービスおよび第三者マテリアルにアクセスすることを選択した範囲内において、お客様は、ご自身の判断で、これらにアクセスされるものとし、地域法を含むがこれに限らないあらゆる適用法令を遵守することは、お客様ご自身の責任です。ライセンサーおよびその使用許諾元は、いつでも、お客様に通知せずに、本サービスを、変更、一時停止、削除、またはアクセス不能にする権利を留保します。ライセンサーは、いかなる場合も、かかる本サービスを削除またはアクセス不能にする責任を負いません。また、ライセンサーは、いかなる場合も、通知なしに、責任を負うこともなく、本サービスの利用またはアクセスを制限することができるものとします。

d. 保証の否認

お客様は、ライセンスアプリケーションのご利用に対する責任がお客様自身にあること、十分な品質、性能、正

確性および努力に関する包括的責任は、お客様にあることについて明示的に了解し、同意されたものとします。適用法令上許容される限り、ライセンスアプリケーションおよび本サービスは、瑕疵の有無を問わずかつ一切の保証を伴わない「現状のまま」かつ「提供可能な範囲」で提供されており、ライセンサーは、ライセンスアプリケーションおよび本サービスに関する明示、黙示、または法令上のいかなる保証および条件も明確に否認し、当該保証および条件は、商品性、十分な品質、特定目的適合性、正確性、安居権および第三者の権利非侵害性を含みますがこれらに限られません。ライセンサーは、ライセンスアプリケーションの利用の妨害がないこと、ライセンスアプリケーションに含まれる機能またはライセンスアプリケーションにより行なわれるもしくは提供される本サービスがお客様の要求を満足させるものであること、ライセンスアプリケーションもしくは本サービスが支障なくもしくは誤りなく作動すること、またはライセンスアプリケーションもしくは本サービスの瑕疵が修正されることを保証しません。ライセンサーまたはその権限ある代表者の、口頭もしくは書面による情報または助言の一切は、新たな保証を行うものではありません。ライセンスアプリケーションもしくは本サービスに瑕疵があると判明した場合、お客様が、すべてのサービス、修理または修正に要する一切の費用を負担します。黙示の保証の免責または適用のある消費者保護法令上の権利の制限を認めない法域において、上記の免責および制限は、お客様に適用されない場合があります。

e. 責任の制限

法令により禁止されない限り、ライセンサーは、ライセンスアプリケーションもしくは本サービスの使用または使用不能に起因もしくは関連する、逸失利益、データの消失、事業の中断またはその他の商業的損害もしくは損失等を含む、人身傷害または付随的、特別の、間接的もしくは派生的損害等について、責任の根拠（契約、不法行為、その他）に関係なく、ライセンサーが当該損害の可能性を示唆していた場合であっても、一切の責任を負いません。人身傷害、または付随的もしくは派生的損害に対する責任の制限を認めない法域において、本制限は、お客様に適用されない場合があります。いかなる場合も（人身傷害において適用法令が別段の要求をする場合を除きます）、一切の損害に関するお客様に対するライセンサーの賠償責任総額は、50 米ドルを上限とします。上記の救済が本質的目的を達成できない場合であっても、前述の制限が適用されます。

f.

お客様は、アメリカ合衆国の法令およびライセンスアプリケーションを取得された国の法令が認めている場合を除き、ライセンスアプリケーションを使用または輸出もしくは再輸出することはできません。特に、但し、これらに限りませんが、ライセンスアプリケーションを、次のいずれの者に対しても、輸出または再輸出することはできません。

(a) アメリカ合衆国の通商禁止国またはその国民もしくは居住者

(b) アメリカ合衆国財務省の特別指定国リスト（list of Specially Designated Nationals）、アメリカ合衆国商務省の拒否人名リスト（Denied Person's List or Entity List）、またはアメリカ合衆国商務省の除外リスト（Debarred List）上の一切の者

ライセンスアプリケーションを使用することにより、お客様は、上記の国に居住しておらず、また、上記のリストに掲載されていないことを表明および保証するものとします。さらに、お客様は、核兵器、ミサイル、化学兵器、または細菌兵器を含むがこれらに限られない、米国法上禁止されるいかなる目的にも、ライセンスアプリケーションを使用しないことを表明および保証するものとします。

g.

ライセンスアプリケーションおよび関連文書は、「商業コンピュータソフトウェア (Commercial Computer Software)」 「商業コンピュータソフトウェア文書 (Commercial Computer Software Documentation)」を構成する 48 C.F.R.2.101 で定義される「商業品目 (Commercial Items)」であり、当該用語は、48.C.F.R.12.212 または 48.C.F.R.227.7202 で使用されています。48 C.F.R.12.212 または 48 C.F.R.227.7202-1 から 227.7202-4 に従い、商業コンピュータソフトウェアおよび商業コンピュータソフトウェア文書は、アメリカ合衆国政府のエンドユーザに対して、(a) 商業品目としてのみ、かつ (b) 本使用許諾契約の条件に従ってその他のエンドユーザ全てに付与される権利のみを伴って、使用許諾されるものです。非公開の権利は、アメリカ合衆国の著作権法に基づき留保されています。

h.

ライセンスアプリケーションに関する著作権表示は、以下のとおりです。

Copyright (c) 2012, Panasonic Corporation

Copyright (c) 1996 - 2011, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

Copyright (c) 2004-2010 Sergey Lyubka

Copyright (c) 2009 The Android Open Source Project

i.

ライセンスアプリケーションに含まれるオープンソースコンポーネントに関しては、以下のライセンス条件が適用されます。

i-1. cURL

Copyright (c) 1996 - 2011, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM,

DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

i-2. Mongoose

Copyright (c) 2004-2010 Sergey Lyubka

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

i-3. Stage Fright

Copyright (C) 2009 The Android Open Source Project

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either

express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

i-4. SDWebImage

Copyright (c) 2016 Olivier Poitrey rs@dailymotion.com

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

j.

お客様は本使用許諾契約に同意することにより、Apple Inc. およびその関連会社が第三者の受益者として本使用許諾契約上の義務の履行をお客様に求める権利を得ることを確認し、同意するものとします。

k.

本使用許諾契約およびお客様によるライセンスアプリケーションの使用については、法の抵触に関する原則を除き、日本法に準拠するものとします。お客様によるライセンスアプリケーションのご利用には、他の地域、州もしくは国の法令または国際法が適用される場合があります。

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote

サーバー」とする)から取得するとともに、取得された Gracernote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracernote データを使用することはできません。

お客様は、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracernote ソフトウェアや Gracernote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、または Gracernote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracernote は、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracernote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracernote, Inc. が本契約上の権利を Gracernote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracernote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracernote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracernote のサービスに関する Gracernote [プライバシー ポリシー](#)を参照してください。

Gracernote ソフトウェアと Gracernote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracernote は、Gracernote サーバーにおける全ての Gracernote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracernote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracernote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracernote ソフトウェアまたは Gracernote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracernote ソフトウェアまたは Gracernote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracernote は、将来 Gracernote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracernote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracernote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracernote は、お客様による Gracernote ソフトウェアまたは任意の Gracernote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracernote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote, Inc. 2009

一部コンテンツの著作権はグレースノートもしくはコンテンツプロバイダーに帰属します。

Manufactured under license from MQA Limited. The MQA logo is a trade mark of MQA Limited.

最終更新日：2022 年 4 月 1 日

ライセンサー（ライセンスアプリケーションの開発者）に関する情報

- ・名称： パナソニック株式会社
- ・所在地： 大阪府門真市大字門真 1006 番地
- ・連絡先： <https://panasonic.jp/support/contact.html>

© Panasonic Corporation 2018

31102220